

岩手医科大学 健康管理センター一年報

～平成 25・26 年度～



岩手医科大学健康管理センター

【黒坂センター長 あいさつ】

目次

序文

はじめに（仮）：健康管理センター長 黒坂 大次郎	1
--------------------------	---

【平成 25 年度】

I 平成 25 年度健康管理センター管理体制

1. 沿革	3
2. 組織図	4
3. 規程	5
4. 健康管理センタースタッフ、運営委員会委員	7
5. 健康管理センター体制	8
6. 各種委員会・会議開催状況	9
7. 健康管理センター各室	10

II 平成 25 年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）	13
2. 学生健康管理実施状況	
1) 学生健康診断	14
2) 各種ワクチン接種	21
3) 心理検査	23
3. 職員健康管理実施状況	
1) 職員健康診断	
(1) 一般健康診断	25
(2) 特殊健康診断	29
(3) その他	32
2) 各種ワクチン接種	34
3) 長時間労働者への産業医による面接指導	38
4) 職場巡視	38
5) 針刺し粘膜曝露事故対応	39

III 平成 25 年度健康管理センター利用状況

1. 健康相談	41
2. 心理相談	42
3. 職場復帰支援	43

IV 平成 25 年度メンタルヘルス支援

1. セミナー	45
2. 講演会	45
3. 震災支援	45

V 平成 25 年度健康教育・啓発活動

1. 健康教育	47
2. 啓発活動	48

VI 平成 25 年度学会・研修会

学会・研修会等出席状況	57
-------------	----

【平成 26 年度】

I 平成 26 年度健康管理センター管理体制

- 1. 沿革
- 2. 組織図
- 3. 規程
- 4. 健康管理センタースタッフ、運営委員会委員
- 5. 健康管理センター体制
- 6. 各種委員会・会議開催状況
- 7. 健康管理センター各室

II 平成 26 年度事業報告

- 1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）
- 2. 学生健康管理実施状況
 - 1) 学生健康診断
 - 2) 各種ワクチン接種
 - 3) 心理検査
- 3. 職員健康管理実施状況
 - 1) 職員健康診断
 - (1) 一般健康診断
 - (2) 特殊健康診断
 - (3) その他
 - 2) 各種ワクチン接種
 - 3) 長時間労働者への産業医による面接指導
 - 4) 職場巡視
 - 5) 針刺し粘膜曝露事故対応

III 平成 26 年度健康管理センター利用状況

- 1. 健康相談
- 2. 健康相談利用状況の比較
- 3. 心理相談
- 4. 心理相談利用状況の比較
- 5. 職場復帰支援

IV 平成 26 年度メンタルヘルス支援

- 1. セミナー
- 2. 講演会
- 3. 震災支援

V 平成 26 年度健康教育・啓発活動

- 1. 健康教育
- 2. 啓発活動

VI 平成 26 年度学会・研修会

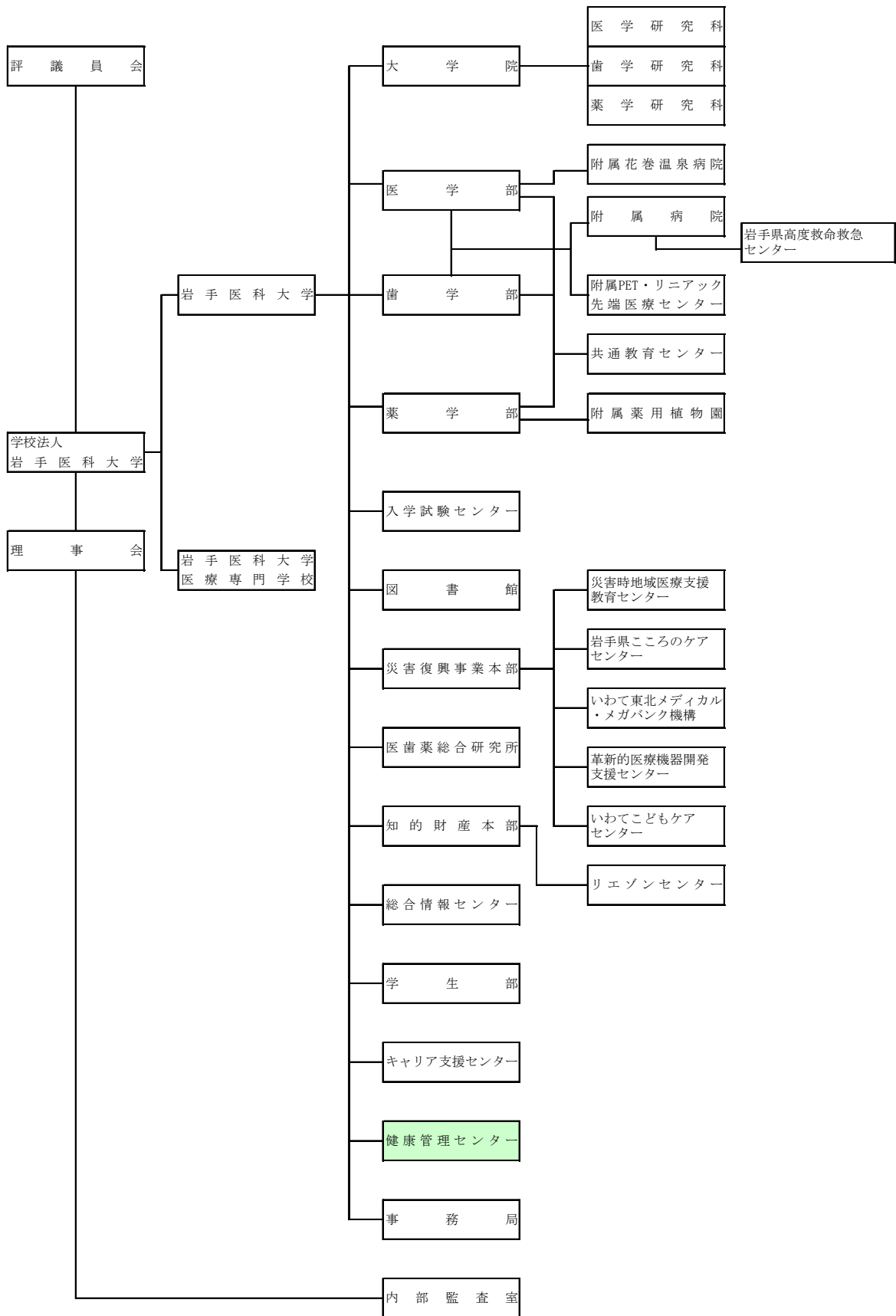
- 1. 研究報告
- 2. 東日本大震災被災地におけるメンタルヘルス支援
- 3. 学会・研修会等出席状況

I 健康管理センター管理体制

1. 沿革

平成 17 年 4 月 1 日	健康管理センター設置 健康管理センター規程制定 鈴木一幸附属病院副院長が健康管理センター長兼務 健康管理センターが 8 号館 1 階に新設
平成 18 年 6 月 1 日	神経精神科学講座酒井明夫教授がセンター長就任
平成 18 年 7 月 25 日	健康管理センターだより創刊号発行
平成 19 年 4 月 1 日	矢巾キャンパス竣工 薬学部・共通教育センター開設に伴い、矢巾キャンパスに健康管理センター設置 産業医規程、学校医規程、学生健康診断規程制定
平成 19 年 10 月 29 日	健康管理センターが現場所 2 号館 2 階に移転
平成 20 年 6 月 1 日	整形外科講座嶋村正教授がセンター長就任
平成 22 年 4 月 1 日	健康管理センター事務室設置
平成 23 年 12 月 19 日	外来診療棟 3 階に健康管理室（休養室）新設
平成 24 年 4 月 1 日	事務局組織機構図の一部改正に伴い、総務部健康管理センター事務室に改正
平成 25 年 4 月 1 日	眼科学講座黒坂大次郎教授がセンター長就任

2. 組織図



3. 規程

1) 岩手医科大学組織規程（抜粋）

第8章 健康管理センター

(健康管理センター)

第38条 本学に健康管理センターをおく。

- 2 健康管理センターにセンター長、必要により副センター長をおくことができる。
- 3 センター長、副センター長は、学長が人事委員会に諮って選考し、理事会の議を経て理事長が任命する。その任期は3年とし再任を妨げない。
- 4 センター長は所属する職員を指揮監督し、健康管理センターの管理運営にあたる。
- 5 副センター長はセンター長を補佐し、センター長事故あるいはその職務を代理する。
- 6 健康管理センターに師長をおく。
- 7 師長は学長が人事委員会の意見を聞いてこれを任命する。
- 8 師長はセンター長、副センター長の指揮の下に所属職員を指揮監督し、センターの円滑な管理運営にあたる。
- 9 健康管理センターの管理運営については、別に定める。

(センターの事務)

第38条の2 健康管理センターに健康管理センター事務室を設け、事務員をおくことができる。

- 2 健康管理センター事務室の事務分掌及び業務の処理については別に定める。

2) 岩手医科大学健康管理センター規程

第1条 岩手医科大学の学生、職員等の健康管理を一元的に行うため、健康管理センター（以下「センター」という。）を置く。

第2条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 定期・臨時の健康診断に関すること。
- (2) 健康診断後の必要な指導に関すること。
- (3) 健康相談に関すること。
- (4) 精神衛生に関すること。
- (5) 環境衛生及び感染症の予防に関すること。
- (6) 学内保健計画の立案に関すること。
- (7) 急患に関する応急処置に関すること。
- (8) その他健康管理に関すること。

第3条 センターに次の各号に掲げる職員を置く。ただし、兼務によることを妨げない。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 医師
- (4) 師長
- (5) 看護師
- (6) 保健師
- (7) 臨床心理士
- (8) 事務員

2 センター長は医学部臨床系教授の兼務とし、副センター長は医師の兼務とする。センター長、副センター長の任命は組織規程の定めるところによる。

3 師長は看護師、保健師及び臨床心理士の内から学長が人事委員会の意見を聞いて任命する。

4 センターの業務を円滑に実施するため、関連部署との連携に留意するものとし、特に感染症予防については感染症対策室と密接に連携を図るものとする。

第4条 センターに健康管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第5条 委員会は、センター長を委員長とし、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副センター長
 - (2) 学生部長
 - (3) 学生副部長
 - (4) 病院長
 - (5) 産業医 1 名
 - (6) 学校医 1 名
 - (7) 事務局長
 - (8) 学務部長
 - (9) 病院事務部長
 - (10) 看護部長
 - (11) 総務部長
 - (12) 人事職員課長
 - (13) 学事総務課長
 - (14) 健康管理センター師長
 - (15) その他委員会が必要と認める者
- 第 6 条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 学内保健計画に関する事項
- (2) 健康管理の維持改善に関する事項
- (3) その他センター長が必要と認めた事項

2 委員会は、必要ある場合センター長が招集し、その議長となる。

第 7 条 委員会の事務は健康管理センターが行う。

第 8 条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の審議を経て健康管理センター長が行う。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年2月10日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

〃	及川 吏智子	看護部長
〃	吉田 秀樹	人事職員課長
〃	佐藤 公俊	学事総務課長
〃	乙部 陵子	健康管理センター・師長

健康管理センタースタッフ（平成 25 年 4 月 1 日現在）

<内丸キャンパス>

職名	氏名	備考
センター長（兼）	黒坂 大次郎	眼科学講座・教授 平 25. 4. 1～
師長	乙部 陵子	平 21. 4. 1～
保健師	村山 美保	平 21. 11. 1～
〃	名郷根 郁子	平 22. 3. 30～
臨床心理士	畠山 秀樹	平 18. 4. 1～
臨時事務員	及川 晴恵	平 23. 11. 1～
〃	佐々木 由香	平 24. 4. 1～平 25. 8. 31

<矢巾キャンパス>

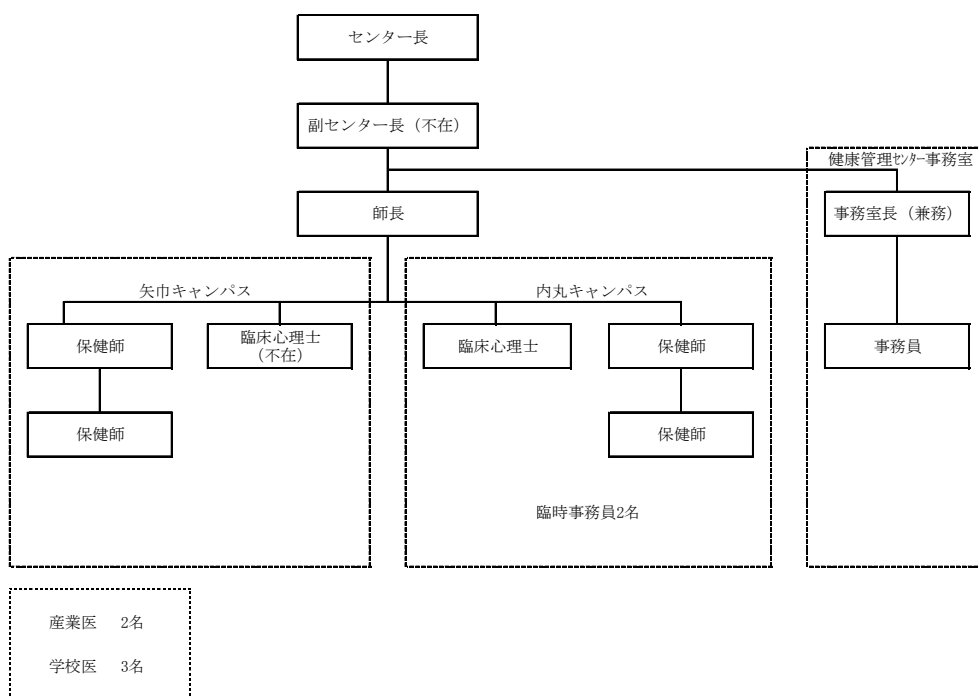
職名	氏名	備考
保健師	久保 陽子	平 23. 4. 1～
〃	藤井 ヌイ子	平 18. 4. 1～

<健康管理センター事務室>

職名	氏名	備考
室長（兼）	遠藤 祐一	総務部長 平 24. 4. 1～
室長補佐	澤田 幸司	平 22. 4. 1～

5. 健康管理センター体制

<平成 25 年度>



6. 各種委員会・会議開催状況

1) 健康管理センター運営委員会

第1回健康管理センター運営委員会
日時：平成25年7月31日（水）16：00～
場所：循環器医療センター3階 会議室

第2回健康管理センター運営委員会
日時：平成26年2月25日（火）16：30～
場所：循環器医療センター3階 研修室

2) 学校医・産業医打ち合わせ会議

第1回学校医・産業医打ち合わせ会議
日時：平成25年11月27日（水）17：10～
場所：病院長室

3) 学務課・教務課・専門学校打ち合わせ会議

第1回学務課・教務課・専門学校打ち合わせ会議
日時：平成25年10月7日（月）13：30～
場所：歯学部4階 会議室、矢巾キャンパス本部棟4階小会議室（TV会議）

4) 健康管理センターミーティング

日時：毎月第一金曜日 11：10～
場所：健康管理センター内

7. 健康管理センター各室

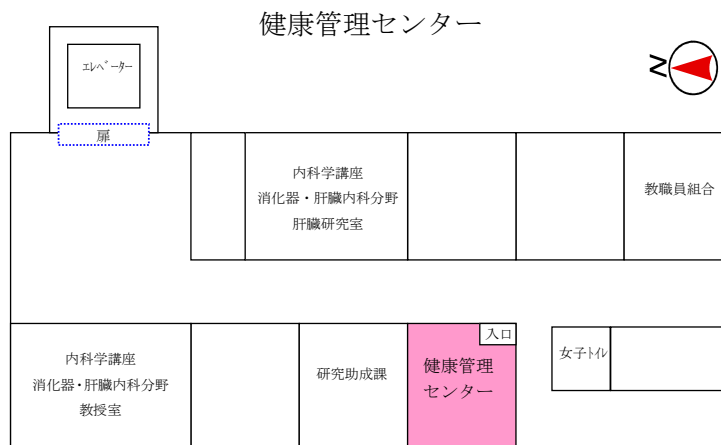
【内丸キャンパス】



健康管理室（休養室）



相談室



医学部 2 号館・2 階・214 室

※健康管理室（休養室）と相談室は別の場所にあります。

健康管理室（休養室）：外来診療棟 3 階 相談室：記念館 8 階

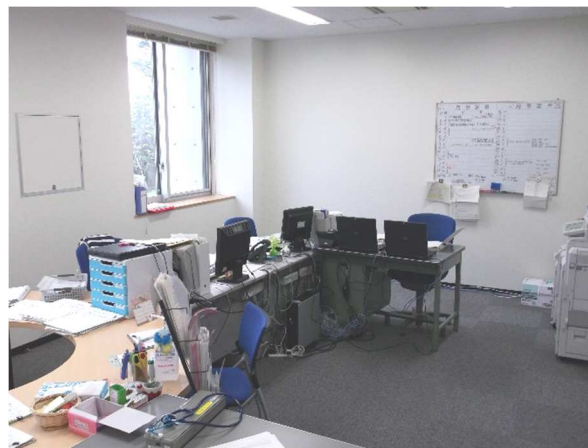
【矢巾キャンパス】



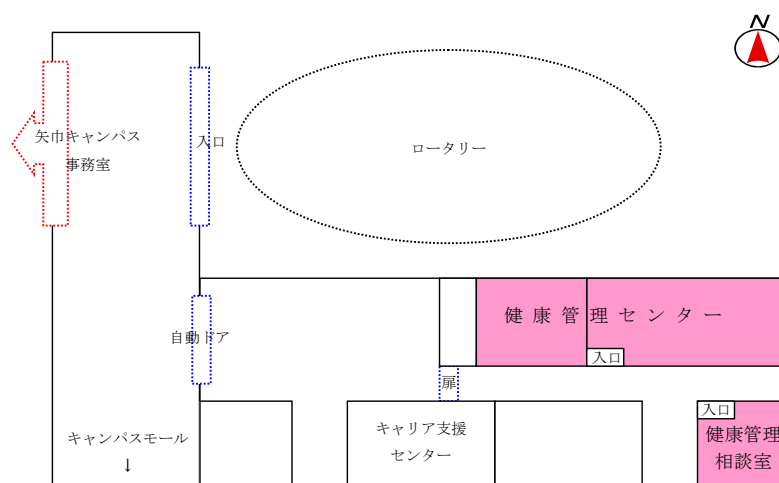
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



研究棟1階 104・105・106室

II 平成 25 年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）

	職員	学生
4月	25日(木)～5月8日(水) 有機溶剤・特定化学物質取扱者調査(対象者) 電離放射線業務従事者調査(対象者)	
5月	23日(木)・24日(金) 花巻温泉病院 定期健康診断 27日(月)～31日(金) 内丸キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体検査(小児病棟新規配属者)	7日(火)～9日(木) 矢巾キャンパス 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査(医・薬4年) 13日(月) 内丸キャンパス 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査 (歯4年、歯科衛生1年、歯科技工1年)
6月	4日(火)・5日(水) 矢巾キャンパス 定期健康診断 10日(月)・11日(火) 雇入時健康診断(ツベルクリン反応検査・接種) 12日(水)・13日(木) 雇入時健康診断(ツベルクリン反応検査・判定) 27日(木) 石綿健康診断(対象者)	6日(木)・7日(金) B型肝炎ワクチン1回目接種 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年)
7月	23日(火)・24日(水) B型肝炎ワクチン1回目接種(対象者)	4日(木)・5日(金) B型肝炎ワクチン2回目接種 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年)
8月	7月30日(火)～9日(金) VDT検診 20日(火)・21日(水) B型肝炎ワクチン2回目接種(対象者)	
9月	4日(水)・5日(木) VDT検診(要検査者) 17日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者) 9日(月)～27日(金) 内丸キャンパス 30日(月) 花巻温泉病院 胃検診(40歳以上の希望者)	
10月	3日(木)～15日(火) 有機溶剤・特定化学物質取扱者調査(対象者) 電離放射線業務従事者調査(対象者)	
	8日(火) 内丸キャンパス・インフルエンザワクチン接種(薬5年・希望者) 23日(水)・24日(木) 矢巾キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者) 28日(月)～11月2日(土) 内丸キャンパス・花巻温泉病院・インフルエンザワクチン接種(希望者)	
11月	12日(火)～15日(金) 特定業務従事者健康診断(対象者) 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) 19日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	
12月	9日(月)～13日(金) 大腸がん検診(40歳以上の希望者) 19日(木) 石綿健康診断(対象者) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種後採血(対象者)	5日(木)・6日(金) B型肝炎ワクチン3回目接種 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年)
1月	21日(火)・22日(水) B型肝炎ワクチン3回目接種(対象者)	9日(木)・10日(金)・16日(木) B型肝炎ワクチン接種後採血 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年)
2月	18日(火)・19日(水) B型肝炎ワクチン接種後採血(対象者)	6日(木) B型肝炎ワクチン追加接種 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年対象者)
3月	4日(火) B型肝炎ワクチン追加接種(対象者) 22日(土) 雇入時健康診断 平成26年4月1日(火)・2日(水) B型肝炎ワクチン追加後採血(対象者)	6日(木) B型肝炎ワクチン追加後採血 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年対象者)

2. 学生健康管理実施状況

1) 学生健康診断

(1) 学部

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察

1年生：全学共通+胸部X線、尿検査、血液検査、歯科健診

4年生：全学共通+胸部X線

※健診対象外は、長期欠席・休学・退学者

<実施日>

矢巾キャンパス：平成25年5月7日（火）～9日（木）

内丸キャンパス：平成25年5月13日（月）

<結果集計>

		在籍者			対 象 外 健 診	対 象 者	受 診 者	受 診 率	総合判定の内訳					医 療 機 関 受 診 者
		男	女	計					A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	
医学部	1年	89	35	124	0	124	124	100.0%	26 (21.0%)	20 (16.1%)	0 (0.0%)	3 (2.4%)	75 (60.5%)	34 (45.3%)
	2年	92	36	128	0	128	127	99.2%	45 (35.5%)	37 (29.1%)	0 (0.0%)	6 (4.7%)	39 (30.7%)	10 (25.6%)
	3年	91	38	129	0	129	129	100.0%	42 (32.5%)	37 (28.7%)	1 (0.8%)	7 (5.4%)	42 (32.6%)	6 (14.3%)
	4年	94	38	132	0	132	132	100.0%	38 (28.8%)	37 (28.0%)	0 (0.0%)	10 (7.6%)	47 (35.6%)	12 (25.5%)
	5年	95	26	121	0	121	121	100.0%	74 (61.1%)	15 (12.4%)	1 (0.8%)	2 (1.7%)	29 (24.0%)	4 (13.8%)
	6年	72	25	97	1	96	96	100.0%	53 (55.1%)	9 (9.4%)	0 (0.0%)	4 (4.2%)	30 (31.3%)	5 (16.7%)
歯学部	1年	33	33	66	0	66	66	100.0%	12 (18.2%)	7 (10.6%)	1 (1.5%)	3 (4.5%)	43 (65.2%)	26 (60.5%)
	2年	33	18	51	0	51	50	98.0%	23 (46.0%)	6 (12.0%)	1 (2.0%)	3 (6.0%)	17 (34.0%)	5 (29.4%)
	3年	35	23	58	0	58	57	98.3%	31 (54.3%)	13 (22.8%)	1 (1.8%)	3 (5.3%)	9 (15.8%)	1 (11.1%)
	4年	49	9	58	0	58	58	100.0%	26 (44.9%)	9 (15.5%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	21 (36.2%)	4 (19.0%)
	5年	53	18	71	0	71	71	100.0%	36 (50.7%)	5 (7.0%)	2 (2.8%)	7 (9.9%)	21 (29.6%)	0 (0.0%)
	6年	59	22	81	0	81	81	100.0%	39 (48.2%)	10 (12.3%)	2 (2.5%)	3 (3.7%)	27 (33.3%)	1 (3.7%)
薬学部	1年	86	110	196	2	194	190	97.9%	35 (18.4%)	34 (17.9%)	0 (0.0%)	6 (3.2%)	115 (60.5%)	46 (40.0%)
	2年	66	102	168	3	165	164	99.4%	64 (39.0%)	29 (17.7%)	3 (1.8%)	11 (6.7%)	57 (34.8%)	20 (35.1%)
	3年	62	88	150	0	150	149	99.3%	69 (46.4%)	17 (11.4%)	0 (0.0%)	9 (6.0%)	54 (36.2%)	12 (22.2%)
	4年	73	76	149	0	149	149	100.0%	42 (28.2%)	37 (24.8%)	0 (0.0%)	14 (9.4%)	56 (37.6%)	6 (10.7%)
	5年	49	77	126	0	126	126	100.0%	48 (38.2%)	24 (19.0%)	0 (0.0%)	10 (7.9%)	44 (34.9%)	7 (15.9%)
	6年	56	100	156	0	156	155	99.4%	68 (43.9%)	22 (14.2%)	7 (4.5%)	14 (9.0%)	44 (28.4%)	19 (43.2%)
合計		1187	874	2061	6	2055	2045	99.5%	771 (37.7%)	368 (18.0%)	19 (0.9%)	117 (5.7%)	770 (37.7%)	218 (28.3%)

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
医学部	1年	124	124	2	9	43	4
	2年	128	127	2	13	28	0
	3年	129	129	0	10	36	0
	4年	132	132	2	18	34	0
	5年	121	121	0	7	22	1
	6年	96	96	1	10	22	0
歯学部	1年	66	66	1	2	30	3
	2年	51	50	1	4	17	0
	3年	58	57	0	1	8	0
	4年	58	58	0	4	17	0
	5年	71	71	1	3	20	0
	6年	81	81	0	7	20	1
薬学部	1年	194	190	4	6	95	5
	2年	165	164	7	13	44	0
	3年	150	149	1	10	45	0
	4年	149	149	1	9	48	0
	5年	126	126	2	7	38	0
	6年	156	155	8	7	34	0
合計		2055	2045	33	140	601	14

対象：1年

血液検査：要受診項目

	対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	MCH	PLT	ケアニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDLC	LDLC	TG	血糖	HbA1c
医学部	124	124	4	0	0	0	0	2	1	6	7	30	1	0	0	1	0	1
歯学部	66	66	3	0	0	0	0	1	0	4	9	16	4	1	1	1	0	1
薬学部	194	190	5	1	1	1	2	0	0	7	12	30	4	0	5	2	0	0
合計	384	380	12	1	1	1	2	3	1	17	28	76	9	1	6	4	0	2

対象：1年

尿検査：要受診項目

	対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
医学部	124	124	0	5
歯学部	66	66	0	0
薬学部	194	190	0	6
合計	384	380	0	11

対象：1・4年
胸部X線検査

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
医学部	1年	124	124	123	0	1
	4年	132	132	131	1	0
歯学部	1年	66	66	65	0	1
	4年	58	58	56	0	2
薬学部	1年	194	190	189	0	1
	4年	149	149	148	1	0
合計		723	719	712	2	5

対象：1年
歯科健診

	在籍者			対象外 健診	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳				
	男	女	計					A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診
医学部	89	35	124	0	124	124	100.0%	100 (80.7%)	4 (3.2%)	2 (1.6%)	2 (1.6%)	16 (12.9%)
歯学部	33	33	66	0	66	66	100.0%	55 (83.4%)	3 (4.5%)	2 (3.0%)	1 (1.5%)	5 (7.6%)
薬学部	86	110	196	2	194	190	97.9%	143 (75.3%)	14 (7.4%)	4 (2.1%)	5 (2.6%)	24 (12.6%)
合計	208	178	386	2	384	380	99.0%	298 (76.0%)	21 (5.5%)	8 (2.1%)	8 (2.1%)	45 (11.8%)

(2) 大学院生

<健診項目>

職員定期健康診断に準ずる

<実施日>

内丸キャンパス 平成25年5月27日(月)～31日(金)

矢巾キャンパス 平成25年6月4日(火)・5日(水)

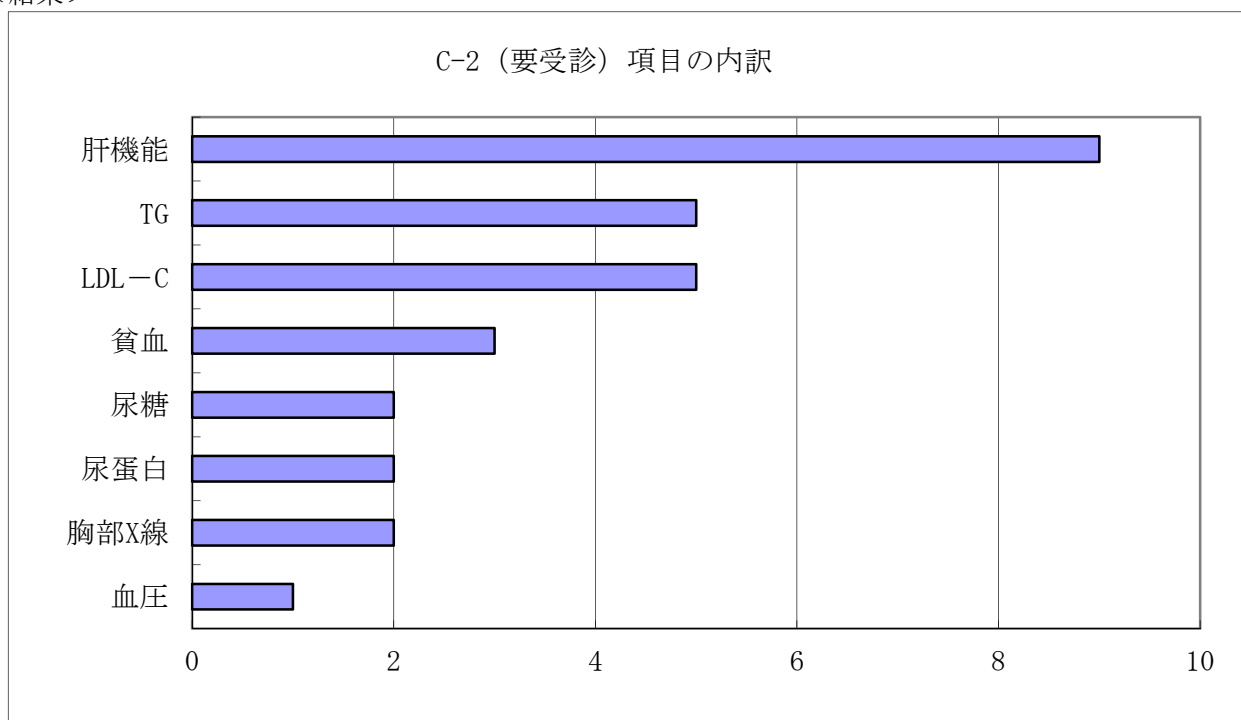
<結果集計>

		在籍者	健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳			
							A 特記事項なし	B 要経過観察	C-1 要治療継続	C-2 要受診
医学部 修士	1年	6	1	5	5	100.0%	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
	2年	/	/	/	/	/	/	/	/	/
医学部 博士	1年	34	24	10	8	80.0%	2 (25.0%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
	2年	43	25	18	16	88.9%	3 (18.8%)	11 (68.7%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)
	3年	33	5	28	28	100.0%	12 (42.9%)	11 (39.3%)	2 (7.1%)	3 (10.7%)
	4年	30	3	27	25	92.6%	9 (36.0%)	6 (24.0%)	3 (12.0%)	7 (28.0%)
歯学部 博士	1年	14	0	14	14	100.0%	8 (57.1%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
	2年	5	0	5	5	100.0%	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	3年	7	0	7	7	100.0%	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.2%)	2 (28.6%)
	4年	12	0	12	12	100.0%	4 (33.3%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	5 (41.7%)
薬学部 博士	1年	2	2	0	/	/	/	/	/	/
合計		186	60	126	120	95.2%	43 (35.8%)	47 (39.2%)	7 (5.8%)	23 (19.2%)

※健診対象外：本学以外での研修者・勤務者等

※本学以外での研修者・勤務者等の健診結果 60名中35名提出(提出率：58.3%)

<結果>



n=29(複数該当あり)

(3) 医療専門学校

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察

1年生：全学共通+胸部X線、尿検査、血液検査、歯科健診

※健診対象外は、長期欠席・休学・退学者

<実施日>

内丸キャンパス：平成25年5月13日（月）

<結果集計>

		在籍者			対 象 外 健 診	対 象 者	受 診 者	受 診 率	総合判定の内訳					医療機関 受診者
		男	女	計					A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	
歯科技工 学科	1年	6	4	10	0	10	10	100.0%	2 (20.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (60.0%)	4 (66.7%)
	2年	10	7	17	0	17	17	100.0%	11 (64.7%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (23.5%)	3 (75.0%)
歯科衛生 学科	1年	0	42	42	0	42	42	100.0%	18 (42.8%)	5 (11.9%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	18 (42.9%)	10 (55.6%)
	2年	0	33	33	0	33	33	100.0%	20 (60.7%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	11 (33.3%)	5 (45.5%)
	3年	0	39	39	0	39	39	100.0%	23 (59.0%)	6 (15.4%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	8 (20.5%)	7 (87.5%)
合計		16	125	141	0	141	141	100.0%	74 (52.6%)	16 (11.3%)	1 (0.7%)	3 (2.1%)	47 (33.3%)	29 (61.7%)

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
技工 学科	1年	10	10	0	2	5	0
	2年	17	17	0	1	4	0
衛生 学科	1年	42	42	1	0	14	0
	2年	33	33	1	0	10	0
	3年	39	39	0	0	8	0
合計		141	141	2	3	41	0

対象：1年

血液検査：要受診項目

	対象者	受診者	W B C	R B C	H b	H t	M C H	P L T	ｸﾞ ｱ ﾁ ﾝ	U A	A S T	A L T	γ- G T P	H D L- C	L D L- C	T G	血 糖	H b A1 c
技工学科	10	10	0	0	1	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	1	0	1
衛生学科	42	42	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	52	52	2	0	1	1	1	1	0	0	2	4	2	0	0	1	0	1

対象：1年

尿検査：要受診項目

	対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
技工学科	10	10	1	2
衛生学科	42	42	0	1
合計	52	52	1	3

対象：1年

胸部 X 線検査

	対象者	受診者	判定内容		
			異常なし	要経過観察	要精密検査
技工学科	10	10	10	0	0
衛生学科	42	42	42	0	0
合計	52	52	52	0	0

対象：1年

歯科健診

	在籍者			対象者	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳				
	男	女	計					A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診
技工学科	6	4	10	0	10	10	100.0%	9 (90.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
衛生学科	0	42	42	0	42	42	100.0%	21 (50.0%)	8 (19.0%)	6 (14.3%)	2 (4.8%)	5 (11.9%)
合計	6	46	52	0	52	52	100.0%	30 (57.8%)	9 (17.3%)	6 (11.5%)	2 (3.8%)	5 (9.6%)

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<対象者>

医学部 4 年、歯学部 4 年、薬学部 4 年

歯科技工学科 1 年、歯科衛生学科 1 年

※本学において、過去に接種済みの学生は対象から除く

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成 25 年 5 月 8 日、13 日

対象者 (採血者)	ワクチン接種前抗体価検査結果		
	陽性	不十分	陰性
357	8	1	348

<ワクチン接種対象者>

349 名：抗体価不十分・陰性と判定された学生

<日程>

ワクチン接種 1 回目	6 月 6 日、7 日
ワクチン接種 2 回目	7 月 4 日、5 日
ワクチン接種 3 回目	12 月 5 日、6 日
ワクチン 3 回接種後抗体価検査	1 月 9 日、10 日、16 日
ワクチン追加接種	2 月 6 日
ワクチン追加接種後抗体価検査	3 月 6 日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1 回接種	1	1	1	0	0	
3 回接種	348	339	335	224	77	34
3 回接種後 追加接種	111	110	95	55	30	10

※追加接種の対象者は、ワクチン 3 回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された学生

(2) インフルエンザワクチン接種

<接種日>

内丸キャンパス：平成 25 年 10 月 8 日（火）（薬学部 5 年生のみ）

平成 25 年 10 月 28 日（月）～11 月 2 日（土）、11 月 8 日（金）

矢巾キャンパス：平成 25 年 10 月 23 日（水）、24 日（木）

学部	学年	対象者数 (人)	接種者数 (人)	本学での接種率 (%)		
				学部・学年	学部	
医学部	1 年	123	102	82.9%	77.1%	78.3%
	2 年	128	84	65.6%		
	3 年	129	101	78.3%		
	4 年	131	107	81.7%		
	5 年	121	103	85.1%	81.2%	
	6 年	97	74	76.3%		
歯学部	1 年	65	48	73.8%	73.3%	77.1%
	2 年	51	37	72.5%		
	3 年	58	47	81.0%	78.7%	
	4 年	58	50	86.2%		
	5 年	71	52	73.2%		
	6 年	81	62	76.5%		
薬学部	1 年	194	175	90.2%	84.1%	
	2 年	166	112	67.5%		
	3 年	150	118	78.7%		
	4 年	148	132	89.2%		
	5 年	126	106	84.1%		
	6 年	156	148	94.9%		
歯科衛生学科	1 年	40	40	100.0%	99.1%	
	2 年	31	31	100.0%		
	3 年	39	38	97.4%		
歯科技工学科	1 年	10	10	100.0%	100.0%	
	2 年	17	17	100.0%		
合計		2190	1794	81.9%		

※網掛は矢巾キャンパス

3) 心理検査

平成25年度 心理検査

<実施検査>

UPI（学生精神的健康調査）；全学部1～3年生、薬学部4～6年生

GHQ12（精神健康調査票 12項目短縮版）；全学部1～3年生、薬学部4～6年生

<実施日>

医学部

	1年	2年	3年
在籍学生数	124	128	129
有効回答者数	124	80	100
実施日	H25.5.22	H25.10.23-24	

歯学部

	1年	2年	3年
在籍学生数	66	51	58
有効回答者数	66	37	58
実施日	H25.5.22	H25.10.23-24	H25.11.6

薬学部

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
在籍学生数	196	168	150	149	126	156
有効回答者数	186	110	118	131	101	144
実施日	H25.5.20	H25.10.23-24			H25.10.8	H25.10.23-24

<結果>

	有効回答者数	UPIハイスコア	GHQハイスコア	要フォロー者数	割合
医 1	124	2	24	2	1.6%
医 2	80	3	9	1	1.3%
医 3	100	5	11	3	3.0%
歯 1	66	4	18	3	4.6%
歯 2	37	0	11	0	0.0%
歯 3	58	5	20	5	8.6%
薬 1	186	17	87	14	7.5%
薬 2	110	4	31	4	3.6%
薬 3	118	6	30	6	5.1%
薬 4	131	5	25	5	3.8%
薬 5	101	2	17	2	2.0%
薬 6	144	3	36	2	1.4%

*要フォロー者；複数の検査でハイスコアだった者

*GHQ 12；ここ2-3週間のストレスを尋ねる質問文のため、一過性のストレスも反映されやすい

<UPI 学生精神的健康調査> 回答数が多かった上位3項目について

医学部

	1年	2年	3年
1位	(36)なんとなく不安である	(12)やる気が出てこない	(18)首すじや肩がこる
2位	(22)気疲れする	(22)気疲れがする	(22)気疲れがする
3位	(14)考えがまとまらない	(15)気分に波がありすぎる (51)こだわりすぎる	(36)なんとなく不安である

歯学部

	1年	2年	3年
1位	(18)首筋や肩がこる	(15)気分に波がありすぎる	(22)気疲れがする
2位	(21)気が小さすぎる	(36)なんとなく不安である	(15)気分に波がありすぎる
3位	(30)人に頼りすぎる	(12)やる気が出てこない (27)記憶力が低下している	(36)なんとなく不安である

薬学部

	1年	2年	3年
1位	(15)気分に波があり過ぎる	(12)やる気が出てこない	(12)やる気が出てこない
2位	(36)なんとなく不安である	(29)決断力がない	(18)首すじや肩がこる
3位	(28)根気が続かない	(38)ものごとに自信がもてない	(15)気分に波がありすぎる (38)ものごとに自信がもてない

	4年	5年	6年
1位	(18)首すじや肩がこる	(18)首すじや肩がこる	(18)首すじや肩がこる
2位	(12)やる気が出てこない	(15)気分に波がありすぎる	(36)なんとなく不安である
3位	(22)気疲れがする	(28)根気が続かない (36)なんとなく不安である	(12)やる気が出てこない

3. 職員健康管理実施状況

1) 職員健康診断

(1) 一般健康診断

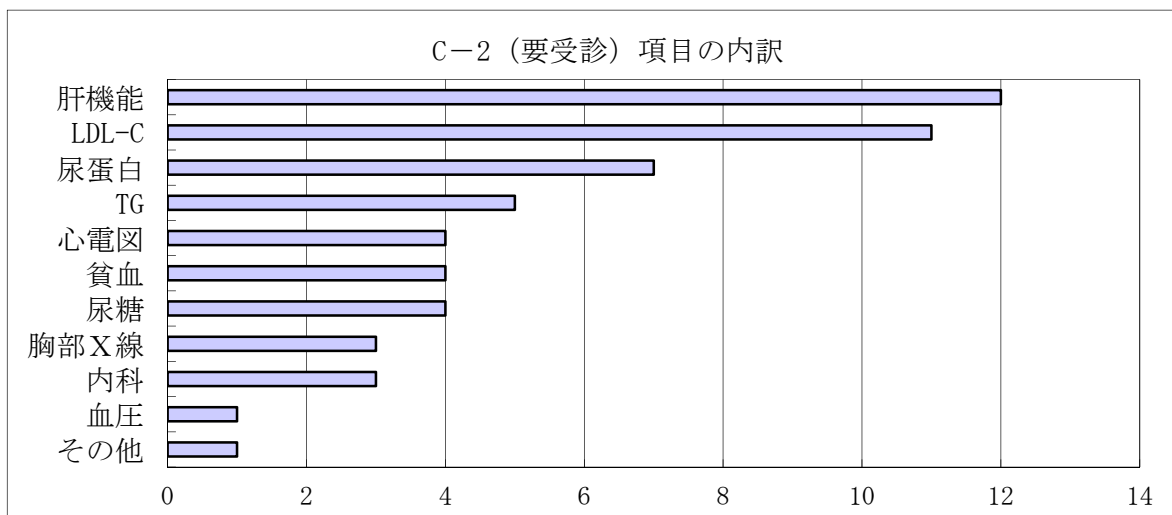
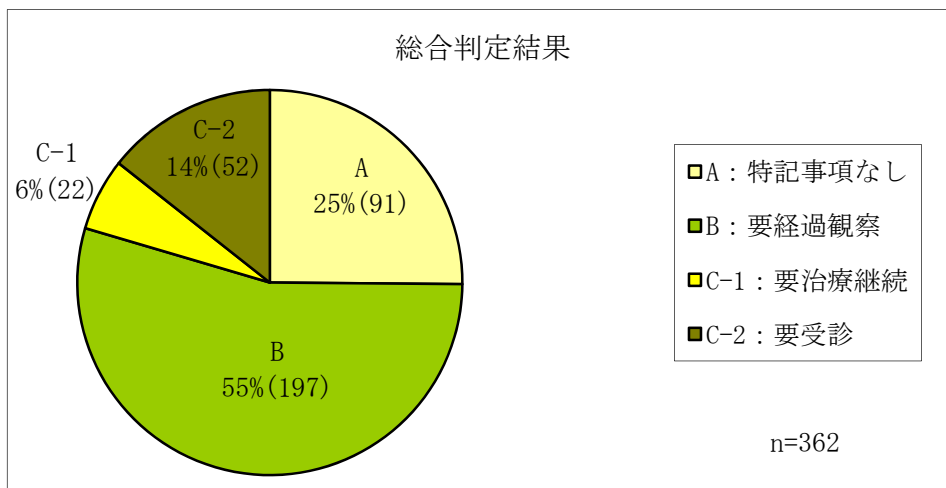
① 雇入時健康診断

<健診項目>

既往歴および業務歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力、胸部エックス線検査、血圧、尿検査、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、心電図検査、内科診察、ツベルクリン反応検査

	正職員	臨時	合計
対象者	298	94	392
受診者	269	93	362
未受診者	29	1	30
受診率	90.3%	98.9%	92.3%

	正職員	臨時	合計
A：特記事項なし	74	17	91
B：要経過観察	147	50	197
C-1：要治療継続	13	9	22
C-2：要受診	35	17	52



② 定期健康診断

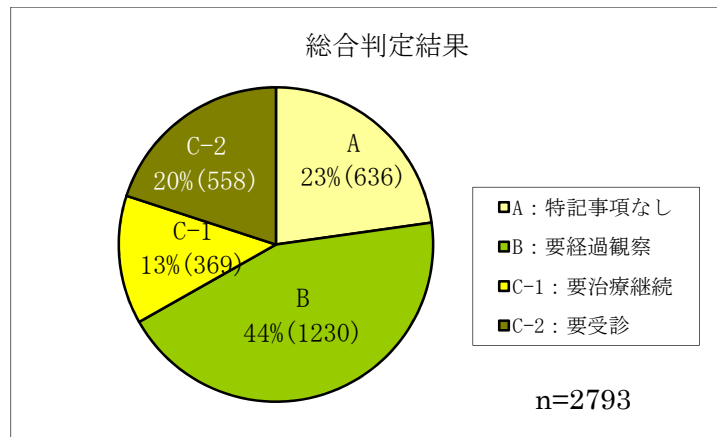
<健診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲（35歳・40歳以上）、視力、聴力、胸部エックス線検査、血圧、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、尿検査、心電図検査（35歳・40歳以上）、内科診察、眼底検査（前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMIの4項目有所見者）

<実施日>

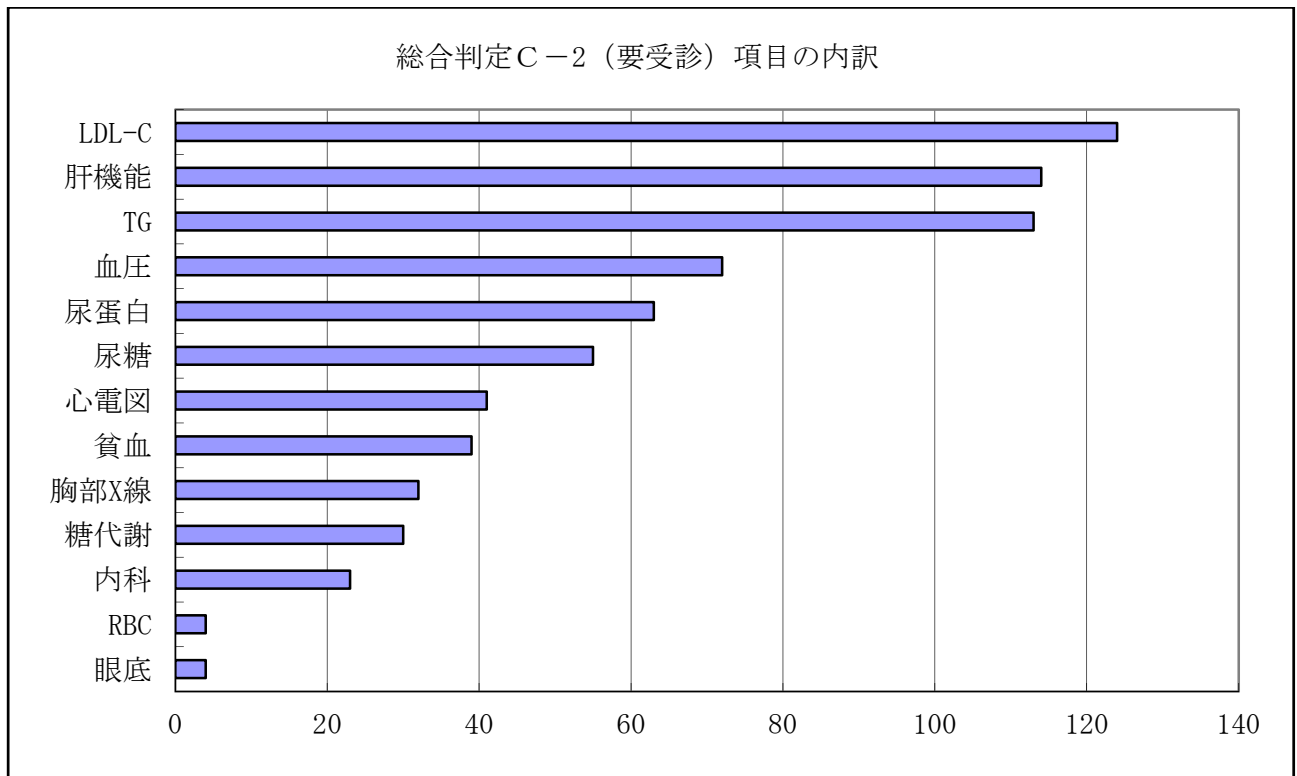
花巻温泉病院：平成25年5月23日（木）、24日（金）
 内丸キャンパス：平成25年5月27日（月）～5月31日（金）
 矢巾キャンパス：平成25年6月3日（火）、4日（水）

対象者	2822
受診者	2793
未受診者	29
受診率	99.0%



C-2（要受診）報告書提出状況

C-2	558
提出者	269
提出率	48.2%



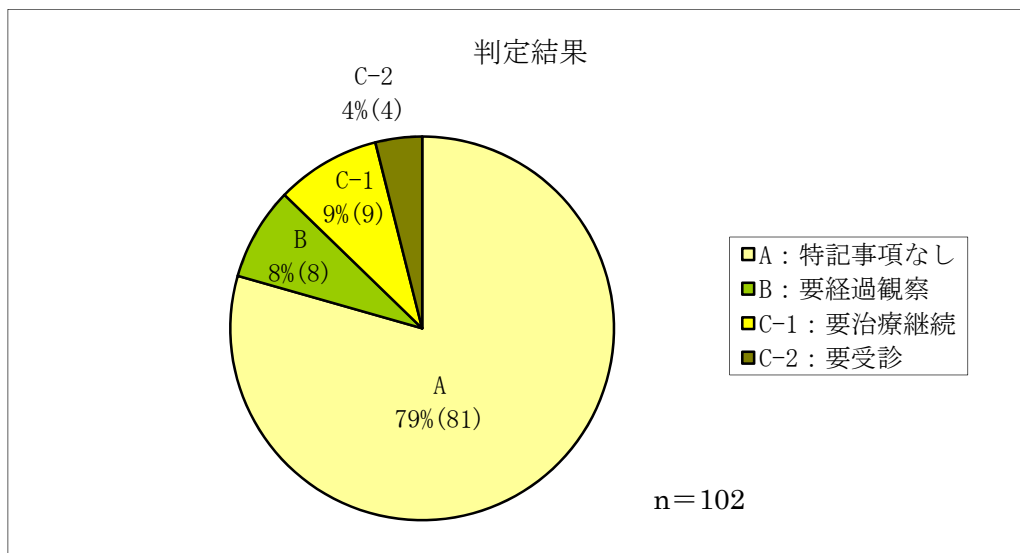
各項目別判定結果

<眼底検査> 前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMI の4項目有所見者

対象者	108
受診者	102
未受診者	6
受診率	94.4%



A：特記事項なし	81
B：要経過観察	8
C-1：要治療継続	9
C-2：要受診	4

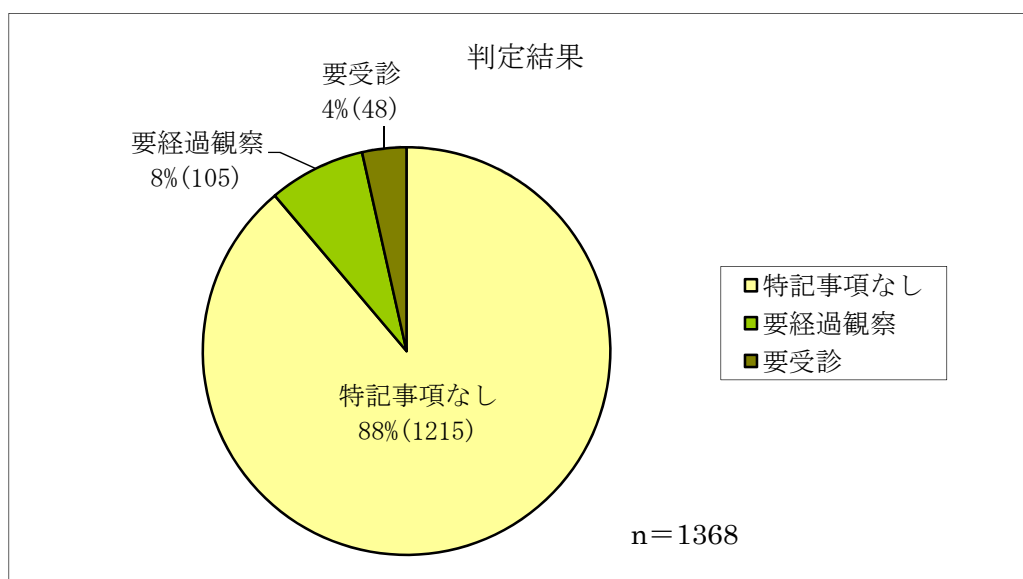


<心電図> 35歳・40歳以上

対象者	1387
受診者	1368
未受診者	19
受診率	98.6%



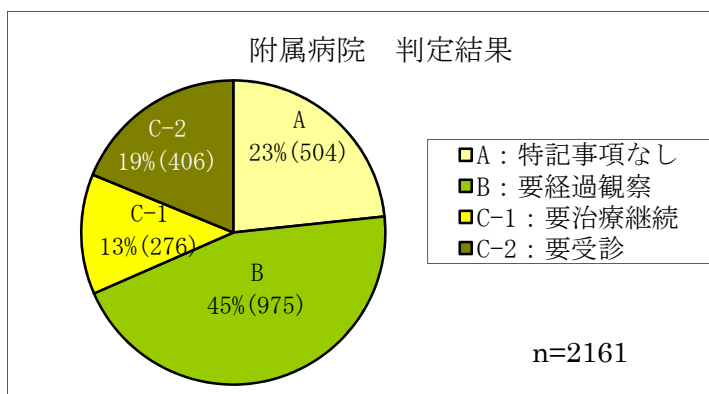
特記事項なし	1215
要経過観察	105
要受診	48



地区別判定結果

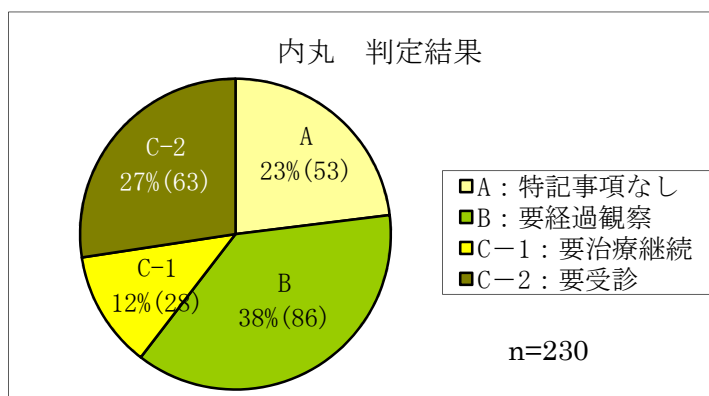
<附属病院>

対象者	2189
受診者	2161
未受診者	28
受診率	98.7%



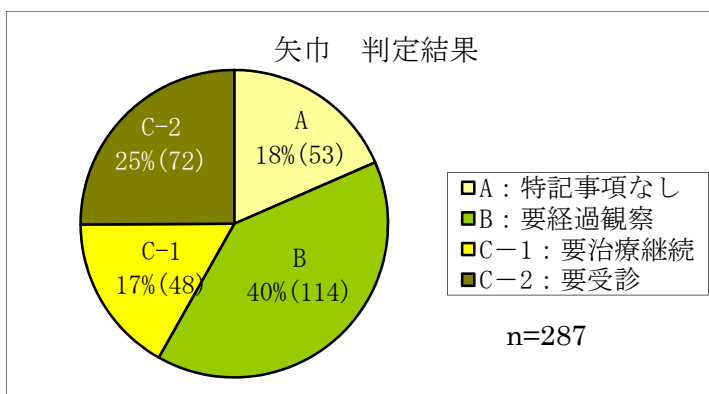
<内丸>

対象者	230
受診者	230
未受診者	0
受診率	100.0%



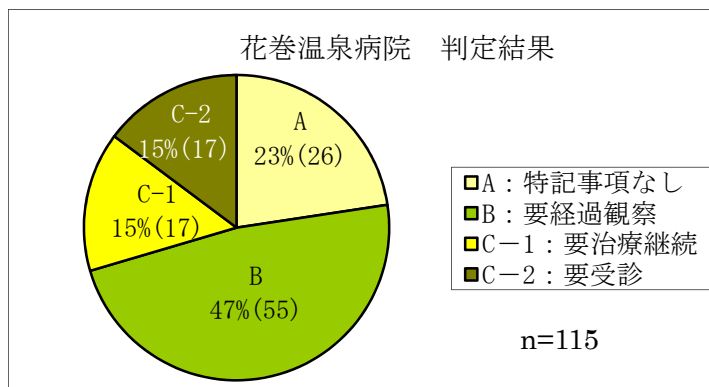
<矢巾>

対象者	288
受診者	287
未受診者	1
受診率	99.7%



<花巻温泉病院>

対象者	115
受診者	115
未受診者	0
受診率	100.0%



③ 特定業務従事者健康診断（特殊健康診断等）

<健診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、視力、聴力、血圧、尿検査、内科診察※血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、※心電図検査（35歳・40歳以上）

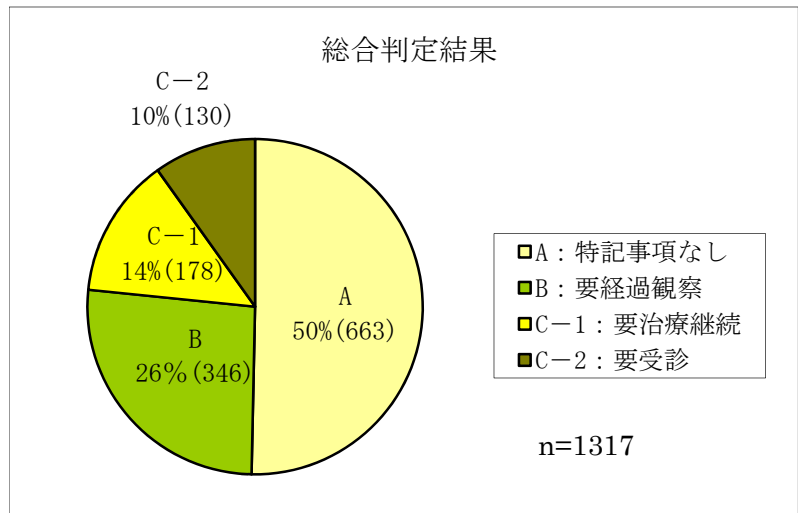
※は、産業医の判断で省略できる

<実施日>

内丸キャンパス：平成25年11月12日（火）～15日（金）

花巻温泉病院：平成25年11月12日（火）～15日（金）

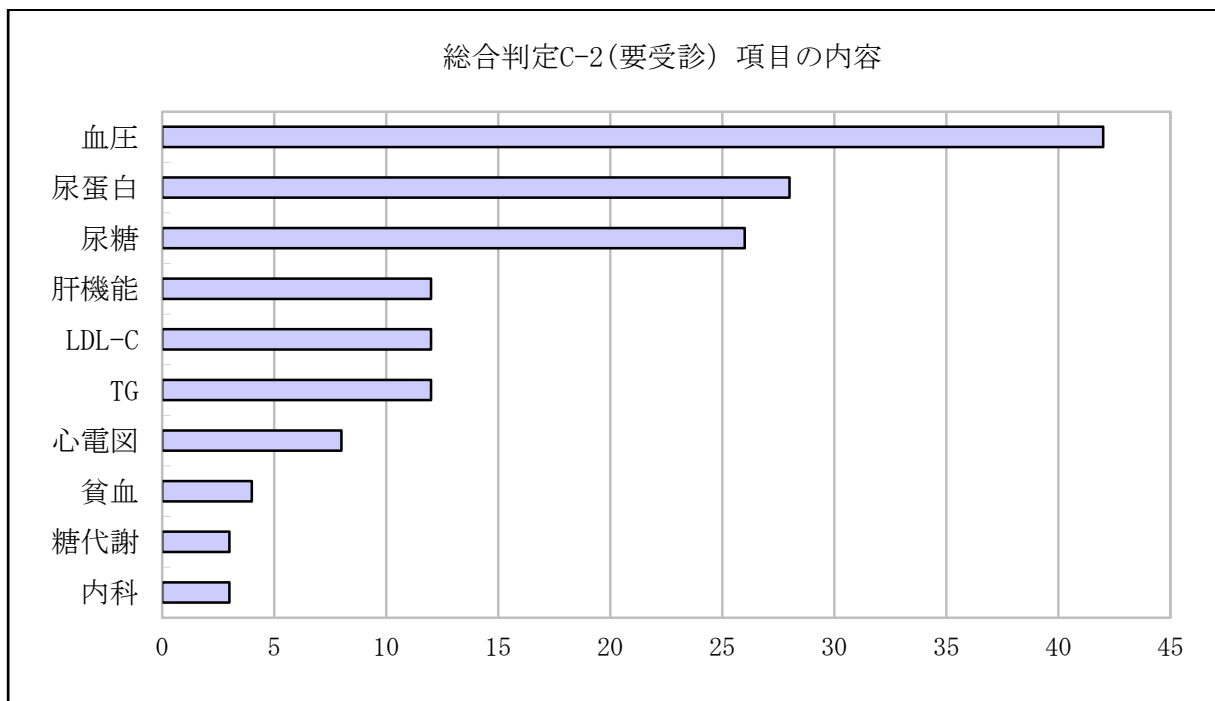
対象者	1,400
受診者	1,317
未受診者	83
受診率	94.1%



C-2（要受診）報告書

提出状況

C-2	130
提出者	39
提出率	30.0%



n=130(複数該当あり)

(2) 特殊健康診断

① 有機溶剤・特定化学物質等健康診断

<実施日（上期）>

平成25年5月27日（月）～31日（金）、6月4日（火）・5日（水）

対象者	194	⇒	管理A	157
受診者	193		管理B	35
受診率	99.5%		管理C	0
			管理R	0
			管理T	1

<実施日（下期）>

平成25年11月12日（火）～15日（金）

対象者	199	⇒	管理A	177
受診者	195		管理B	16
受診率	98.0%		管理C	0
			管理R	0
			管理T	2

管理A	特殊健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B	検査項目に異常を認めるが、産業医が精査を必要としないと判断した者 (管理Cには該当しないが、当該因子による疑いのある異常が認められる者)
管理C	当該因子による疾患に罹患している者
管理R	当該因子によらないが、曝露により増悪するおそれがある疾病・異常を認める場合
管理T	当該因子によらない疾病・異常を認める場合 (当該疾病に対する療養その他の処置を必要とする)

② 電離放射線健康診断

<実施日（上期）>

平成25年5月23日（木）～6月5日（水）

<判定結果>

対象者	478	⇒	A：特記事項なし	478
受診者	478		B：要経過観察	0
受診率	100%		C：要治療・要精密検査	0
			D：要措置（業務配慮・業務配置転換等）	0

<実施日（下期）>

平成25年11月12日（火）～15日（金）

<判定結果>

対象者	479	⇒	A：特記事項なし	478
受診者	479		B：要経過観察	1
受診率	100%		C：要治療・要精密検査	0
			D：要措置（業務配慮・業務配置転換等）	0

③ 石綿健康診断

<実施日（上期）>

平成 25 年 5 月 27 日（月）～31 日（金）

対象者	31	⇒	管理 A	30
受診者	31		管理 B-1	1
受診率	100.0%		管理 B-2	0
			管理 C	0
			管理 R	0
			管理 T	0

<実施日（下期）>

平成 25 年 12 月 11 日（水）～13 日（金）

対象者	31	⇒	管理 A	30
受診者	31		管理 B-1	1
受診率	100.0%		管理 B-2	0
			管理 C	0
			管理 R	0
			管理 T	0

管理 A	第一次健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理 B-1	第一次健康診断のある検査項目に異常を認めるが、医師が第二次健康診断を必要としないと判断した者
管理 B-2	健康診断の結果、管理 C には該当しないが、当該因子によるかまたは当該因子による疑いのある異常が認められる者
管理 C	第二次健康診断の結果、当該因子による疾患に罹患している者
管理 R	健康診断の結果、当該因子による疾病または異常を認めないが、当該業務に就業することにより増悪するおそれのある疾病にかかっている場合または異常が認められる者
管理 T	健康診断の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合または異常が認められる者（管理 R に属するものを除く）

(3) その他

① VDT 作業者健康診断

<問診実施日> 平成 25 年 7 月 30 日 (火) ~8 月 9 日 (金)

<検査実施日> 平成 25 年 9 月 4 日 (水) ~5 日 (木)

② 胃がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 内丸キャンパス : 平成 25 年 9 月 9 日 (月) ~27 日 (金)

花巻温泉病院 : 平成 25 年 9 月 30 日 (月)

<内丸・矢巾>

対象者	1175
受診者	466
受診率	39.7%



異常なし		441
希望精検		6
要精密検査		19
(内訳)	胃内視鏡	(19)
	その他	(0)

<花巻温泉病院>

対象者	50
受診者	17
受診率	34.0%



異常なし		17
希望精検		0
要精密検査		0
(内訳)	胃内視鏡	(0)
	その他	(0)

③ 大腸がん検診 (40 歳以上希望者)

<実施日> 平成 25 年 12 月 9 日 (月) ~13 日 (金)

<内丸・矢巾>

対象者	1208
受診者	347
受診率	28.7%



異常なし		342
要精密検査		5

<花巻温泉病院>

対象者	49
受信者	15
受診率	30.6%



異常なし		15
要精密検査		0

④ 結核接触者検診

ケース	健診実施時期		対象者	健診内容等
【TB111024】 H23. 10. 24 発生	1年6ヵ月後	H25. 4. 24～4. 25	3名	胸部X線撮影・診察（問診票）
	2年後	1年6ヵ月後健診の判定結果、実施せず。 H26年度の職員健診で判断する。 →QFT検査の指示あり H26. 8. 6実施	1名 (1名：退職) (1名：除外)	胸部X線撮影（職員健診で実施）・ 診察（問診票）・QFT検査
【TB111229】 H23. 11. 29 発生	1年6ヵ月後	H25. 7. 1	1名	胸部X線撮影・診察（問診票）
	2年後	H26. 1. 10	1名	胸部X線撮影・診察（問診票）・ QFT検査
【TB120711】 H24. 7. 11 発生	1年後	H25. 7. 12	1名	胸部X線撮影・診察（問診票）
	1年6ヵ月後	1年後健診の判定結果、実施せず。 2年後健診で判断する。	1名	（省略）
【TB121121】 H24. 11. 21 発生	6ヵ月後	H25. 5. 21	1名	胸部X線撮影・診察（問診票）
	1年後	H25. 11. 21	1名	胸部X線撮影・診察（問診票）
【TB130508】 H25. 5. 8 発生	2ヵ月後	①H25. 5. 27～5. 31 ②H25. 6. 17～6. 21 ③H25. 7. 25～8. 1	①23名 ②38名 ③32名	T-スポット検査・診察（問診） ①陰性：22名 判定保留：1名 →陰性としての取扱い ②陰性：32名 判定保留：1名 →4週間後 判定保留 陽性：5名 ③陰性：28名 判定保留：1名 →4週間後 陽性 陽性：3名
	6ヵ月後	H25. 11. 8、11. 11	2名	胸部X線撮影・診察（問診票）

※下記の2事例については、「感染危険度指数」から判断し接触者健診の必要性を認めないが当該職員自身の健康状態を確認する目的で自覚症状の確認のみとの判定であった。

【TB131108】 問診票：8名（自覚症状確認期間 H26.1.10～1.23）

【TB131219】 問診票：4名（自覚症状確認期間 H26.1.14～1.23）

QFT・T-スポット検査結果の事後対応

陰性	2年間は定期健康診断で必ず胸部X線撮影を実施する
陽性	潜在性肺結核として予防内服を推奨し、医療機関につなげる
判定保留	検査日から4週間後に再度QFTまたはT-スポット検査を実施する 潜在性肺結核として予防内服を選択するかどうかは、本人の意思に基づき決定する 内服しない場合は、6ヵ月毎に2年間の健診（胸部X線撮影と問診票）を実施する

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<ワクチン接種前抗体価検査結果>実施日：平成25年5月23日～6月5日

対象者 (希望者)	検査実施者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
		陽性	不十分	陰性
1240	1176	690	225	261

<ワクチン接種対象者>

445名：抗体価不十分・陰性と判定された職員（事務職等41名を除く）

<日程>

ワクチン接種1回目	7月23日、24日
ワクチン1回接種後抗体価検査・ワクチン接種2回目	8月20日、21日
ワクチン接種3回目	1月21日、22日
ワクチン3回接種後抗体価検査	2月18日、19日
ワクチン追加接種	3月4日
ワクチン追加接種後抗体価検査	4月1日、2日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	165	140	111	106	5	0
1回倍量接種	59	48	42	38	4	0
3回接種	221	129	119	93	19	7
3回接種後追加接種	26	19	16	8	4	4

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された職員

(2) C型肝炎抗体検査

<実施日> 平成25年5月23日（木）～6月5日（水）

<判定結果>

対象者(希望者)	1273	⇒	陰性	1200
検査実施者	1207		陽性(要受診)	2
			疑陽性(要受診)	5

(3) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体価検査およびワクチン接種

<対象者>

小児病棟新規配属職員

<受診者>

13名

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成25年5月27日～6月5日

検査項目 (検査法：I g G - E I A法)	(-) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
水痘	0	0	13
風疹	0	1	12
流行性耳下腺炎	0	4	9

<ワクチン接種対象者>

4名：(-)、(±)と判定された職員 1名は風疹、流行性耳下腺炎の2種類該当

<日程>

ワクチン接種	9月17日、11月19日
ワクチン接種後抗体価検査	12月18日～12月27日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	(-) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
風疹	1	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	4	4	0	1	3

(4) インフルエンザワクチン接種（職員・大学院生）

<接種日> 矢巾キャンパス：平成25年10月23日（水）、24日（木）
 内丸キャンパス：平成25年10月28日（月）～11月2日（土）、11月8日（金）
 花巻温泉病院：平成25年10月28日（月）～11月2日（土）、11月8日（金）

		対象者数	希望者数	申込率	接種者数	希望者の 接種率	対象者の 接種率
附属病院	臨床系医師・歯科医師	896	585	65.3%	503	86.0%	56.1%
	看護師	1205	1154	95.8%	1135	98.4%	94.2%
	コメディカル	363	334	92.0%	320	95.8%	88.2%
	事務系	265	210	79.2%	202	96.2%	76.2%
	その他	2	1	50.0%	1	100.0%	50.0%
	計	2731	2284	83.6%	2161	94.6%	79.1%
内丸地区	臨床系医師・歯科医師	4	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
	基礎系医師・歯科医師	4	2	50.0%	2	100.0%	50.0%
	その他の教員	13	13	100.0%	13	100.0%	100.0%
	看護師	6	4	66.7%	4	100.0%	66.7%
	コメディカル	11	10	90.9%	10	100.0%	90.9%
	事務系	165	148	89.7%	147	99.3%	89.1%
	その他	28	25	89.3%	25	100.0%	89.3%
計	231	202	87.4%	201	99.5%	87.0%	
矢巾地区	基礎系医師・歯科医師	109	75	68.8%	73	97.3%	67.0%
	その他の教員	92	72	78.3%	66	91.7%	71.7%
	看護師	5	5	100.0%	5	100.0%	100.0%
	コメディカル	18	15	83.3%	13	86.7%	72.2%
	事務系	97	90	92.8%	84	93.3%	86.6%
	その他	35	30	85.7%	30	100.0%	85.7%
計	356	287	80.6%	271	94.4%	76.1%	
花巻温泉病院	臨床系医師・歯科医師	12	9	75.0%	9	100.0%	75.0%
	看護師	83	78	94.0%	76	97.4%	91.6%
	コメディカル	15	15	100.0%	15	100.0%	100.0%
	事務系	6	6	100.0%	6	100.0%	100.0%
	計	116	108	93.1%	106	98.1%	91.4%
合計		3434	2881	83.9%	2739	95.1%	79.8%

<インフルエンザ発生状況>

所 属	所属 人数	ワクチン 接種者	ワクチン 未接種者	接種率	インフルエンザA型発症数			インフルエンザB型発症数			インフルエンザ様症状発症数			インフルエンザA型+B型+様症状発症数						
					発症 人数	発症人数 (ワクチン接種 者中)	発症人数 (ワクチン未接 種者中)	発症 人数	様症状人数 (ワクチン接種 者中)	様症状人数 (ワクチン未接 種者中)	発症 人数	発症人数 (ワクチン接種 者中)	様症状人数 (ワクチン未接 種者中)	発症 人数	発症率	発症人数 (ワクチン接種者 中)	発症人数 (ワクチン未接種 者中)			
内丸地区	職員・大学院生	2,962	2,362	600	79.7%	97	93	4	33	33	0	37	37	0	167	5.6%	163	6.9%	4	0.7%
	医学部	218	177	41	81.2%	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0.9%	1	0.6%	1	2.4%
	歯学部	268	211	57	78.7%	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	1.1%	3	1.4%	0	0.0%
	歯科衛生学科	110	109	1	99.1%	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.9%	1	0.9%	0	0.0%
	歯科技工学科	27	27	0	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	外部団体(希望者)	461	423	38	91.8%	10	9	1	3	3	0	2	1	1	15	3.3%	13	3.1%	2	5.3%
	内丸 合計	4,046	3,309	737	81.8%	110	104	6	36	36	0	42	41	1	188	4.6%	181	5.5%	7	0.9%
矢巾地区	職員・大学院生	356	271	85	76.1%	2	0	2	1	1	0	1	1	0	4	1.1%	2	0.7%	2	2.4%
	医学部	511	394	117	77.1%	3	2	1	0	0	0	1	1	0	4	0.8%	3	0.8%	1	0.9%
	歯学部	116	85	31	73.3%	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1.7%	2	2.4%	0	0.0%
	薬学部	940	791	149	84.1%	6	6	0	1	0	1	1	0	1	8	0.9%	6	0.8%	2	1.3%
	外部団体(希望者)	33	31	2	93.9%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	矢巾 合計	1,956	1,572	384	80.4%	12	9	3	2	1	1	4	3	1	18	0.9%	13	0.8%	5	1.3%
花巻地区	職員	116	106	10	91.4%	4	4	0	1	1	0	0	0	0	5	4.3%	5	4.7%	0	0.0%
	外部団体(希望者)	28	27	1	96.4%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	花巻 合計	144	133	11	92.4%	4	4	0	1	1	0	0	0	0	5	3.5%	5	3.8%	0	0.0%
合 計	6,146	5,014	1,132	81.6%	126	117	9	39	38	1	46	44	2	211	3.4%	199	4.0%	12	1.1%	

※歯学部既卒者：5名中1名接種
 ※特別研究生：1人中1人接種

3) 長時間労働者への産業医による面談指導

(単位：件)

対象月	対象者				面接申出書 チェックリスト 提出者	面接 希望者	産業医 面接者
	6ヶ月平均で 45時間以上	2ヶ月平均で 80時間以上	1ヶ月平均で 100時間以上	計			
4月	11	3	2	16	15	0	1
5月	15	2	0	17	17	0	0
6月	13	0	0	13	13	0	0
7月	11	0	0	11	11	0	1
8月	12	0	0	12	12	0	0
9月	10	0	0	10	10	0	0
10月	6	0	1	7	7	0	0
11月	6	1	1	8	8	1	2
12月	11	0	1	12	12	0	4
1月	13	0	1	14	14	0	0
2月	13	0	1	14	14	0	0
3月	24	1	3	28	28	1	1
計	145	7	10	162	161	2	9

※産業医面接は、本人希望と産業医の判断で必要と認めた者

4) 職場巡視

<実施日>

- 1回目 平成25年8月22日(木)・23日(金)
- 2回目 平成26年1月31日(金)

<巡視内容>

- ・有機溶剤・特定化学物質等健康診断より浮上した使用状況・使用環境について確認が必要な部署への状況確認
- ・VDT健診で浮上した環境上確認が必要な部署への状況確認

<巡視場所>

【1回目】

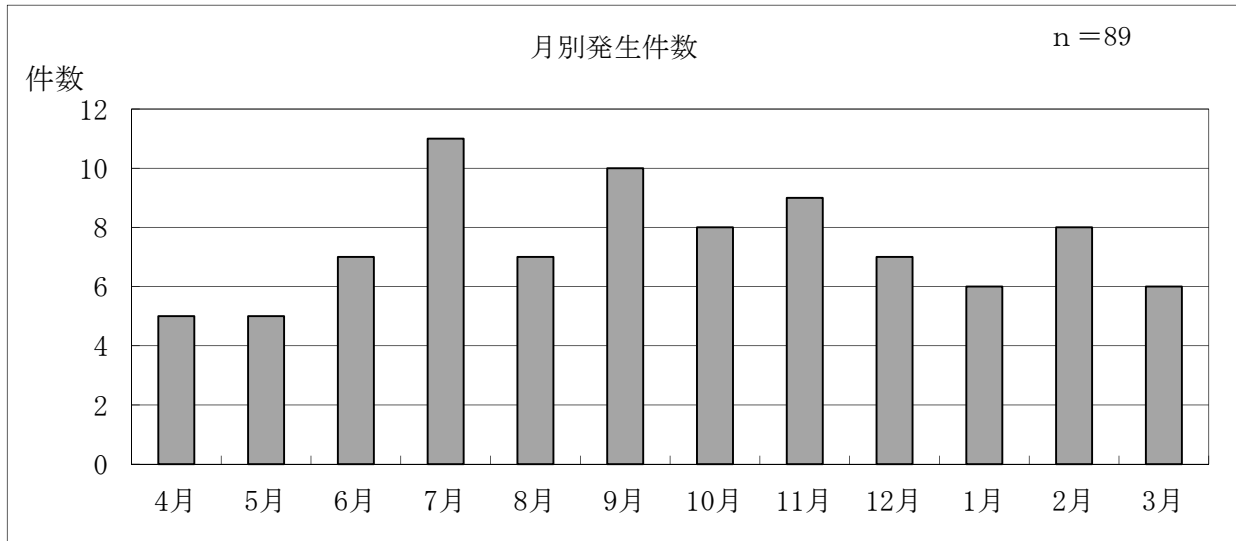
- ・バイオイメージングセンター 染色室
- ・病理組織・細胞診受付(西病棟2階)

【2回目】

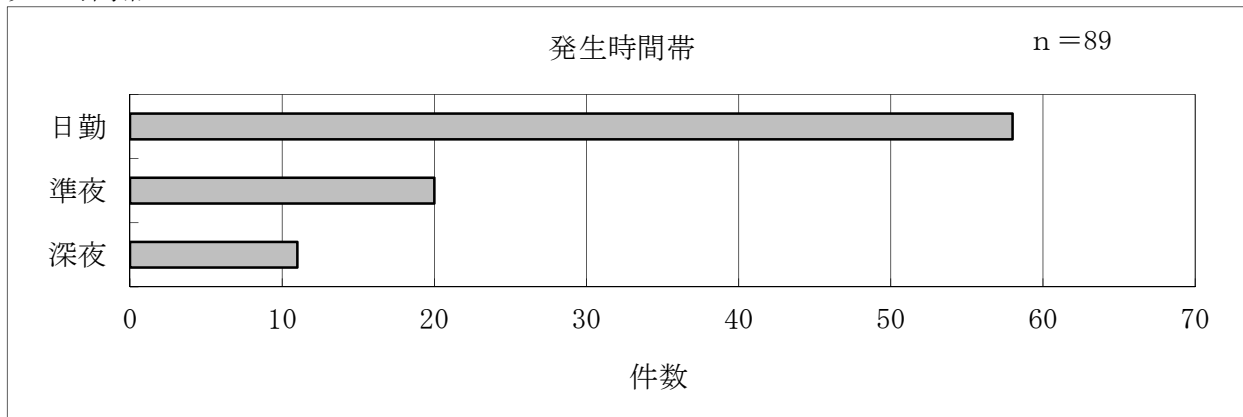
- ・中6
- ・中7
- ・中9

5) 針刺し粘膜暴露事故対応

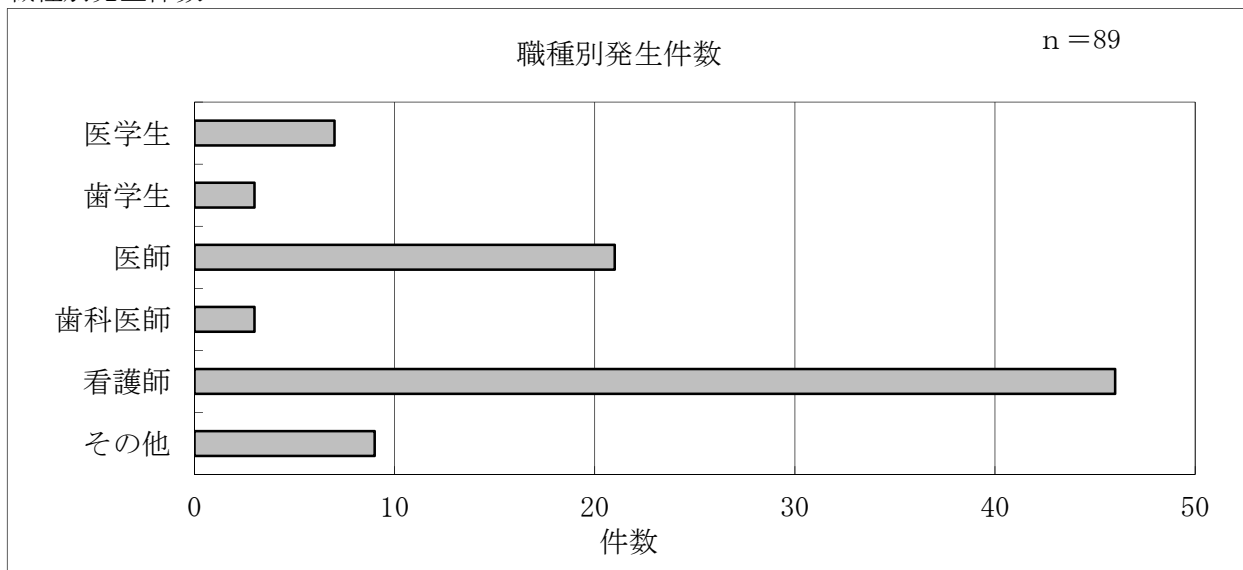
<月別件数>



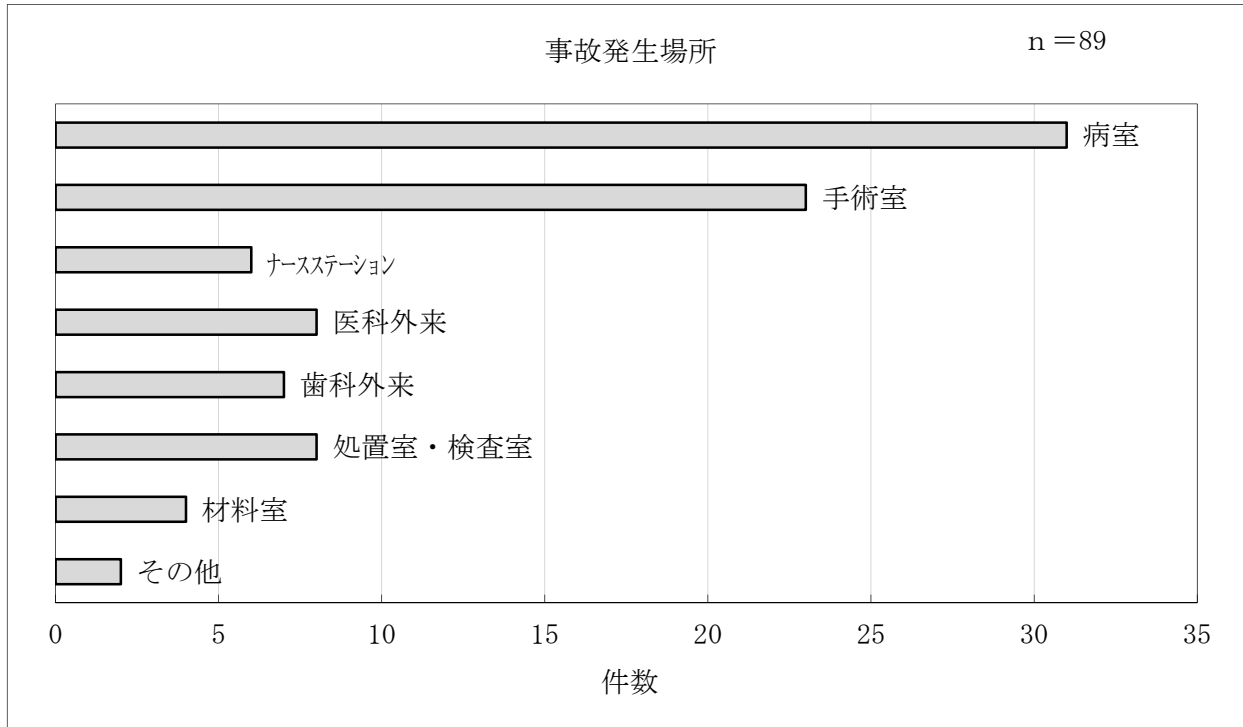
<発生時間帯>



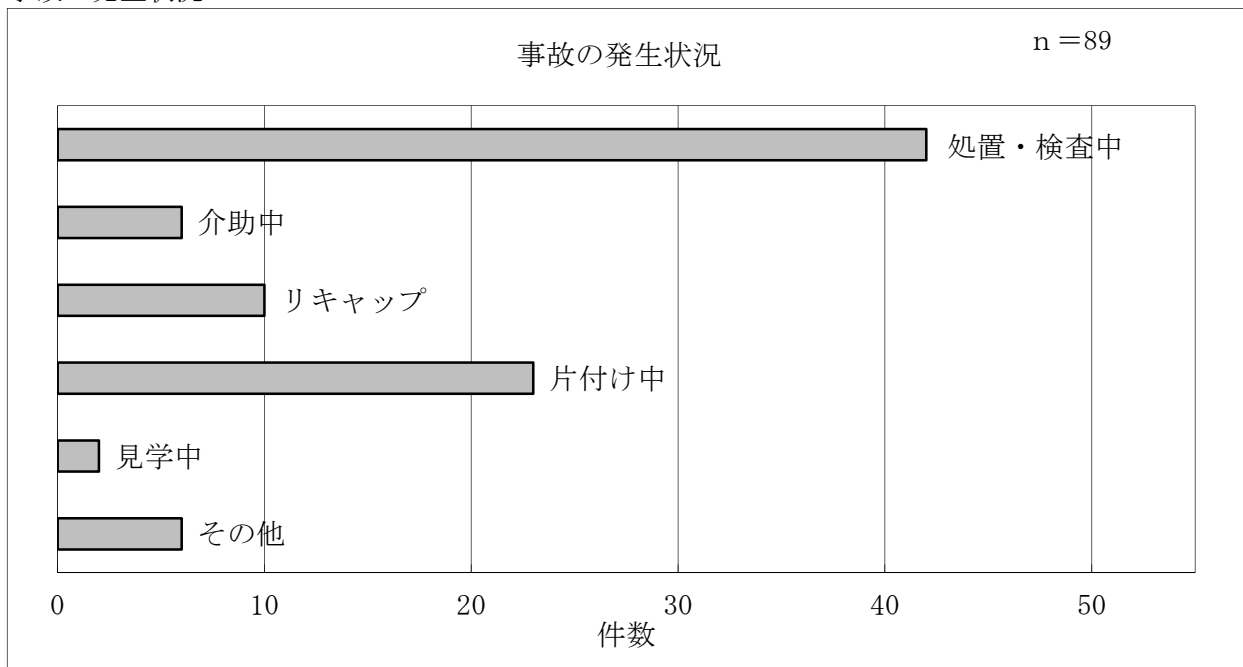
<職種別発生件数>



<事故発生場所>



<事故の発生状況>



Ⅲ 健康管理センター利用状況

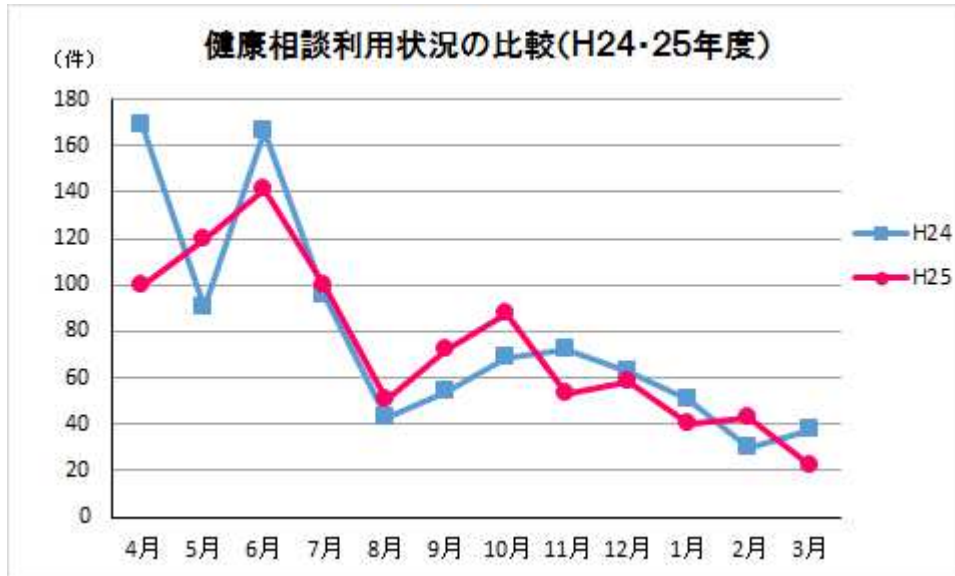
1. 健康相談

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
健康相談	内科	医学部	17	16	14	3	3	15	6	10	3	4	2	0	93
		歯学部	3	6	1	5	2	0	2	1	3	1	2	1	27
		薬学部	19	21	31	16	6	19	23	12	12	13	8	0	180
		専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	7	3	3	4	5	5	5	0	4	4	6	8	54	
	外科	医学部	7	2	3	0	2	2	10	1	0	0	1	0	28
		歯学部	1	0	8	1	1	0	1	3	1	1	1	0	18
		薬学部	4	12	6	4	1	3	4	6	10	5	4	2	61
		専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	1	0	2	0	0	1	2	2	0	2	10	
耳鼻科	医学部	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	6	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2		
皮膚科	医学部	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	薬学部	0	2	2	2	0	2	1	1	1	0	0	0	11	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
眼科	医学部	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
産婦人科	医学部	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	
	歯学部	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	6	
	薬学部	7	6	5	2	2	2	5	1	3	0	0	0	33	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
歯科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
泌尿器科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
精神科	医学部	5	4	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	17	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	1	2	5	2	1	6	5	3	4	2	1	0	32	
	専門学校	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
職員	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
その他	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
健康診断 ワクチン接種 関連相談	医学部	5	2	4	5	0	2	2	1	3	1	2	0	27	
	歯学部	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	
	薬学部	9	11	2	1	4	0	13	4	0	1	2	1	48	
	専門学校	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
職員	3	2	3	1	2	2	1	0	1	1	2	1	19		
健康診断 事後指導	医学部	0	1	9	16	1	2	0	0	0	0	0	0	29	
	歯学部	0	0	7	5	1	0	0	1	0	0	0	0	14	
	薬学部	0	4	15	18	0	2	1	0	1	0	1	1	43	
	専門学校	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
職員	0	1	3	3	12	3	2	0	0	0	0	0	24		
学校医相談 産業医相談	医学部	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2		
相談の内容	医学部	0	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	0	8	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	4	2	2	1	1	1	0	1	0	0	5	5	22	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3		
その他	医学部	0	0	0	1	0	0	1	1	3	3	2	0	11	
	歯学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	0	2	1	1	1	3	0	0	1	2	2	0	13	
	専門学校	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
職員	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
計	100	120	141	100	51	72	88	53	58	40	43	22	888		

※件数は延件数

	学生	職員
健康診断個人票発行	253	71

2. 健康相談利用状況の比較



3. 心理相談（健康管理センター相談室）

1) 学生

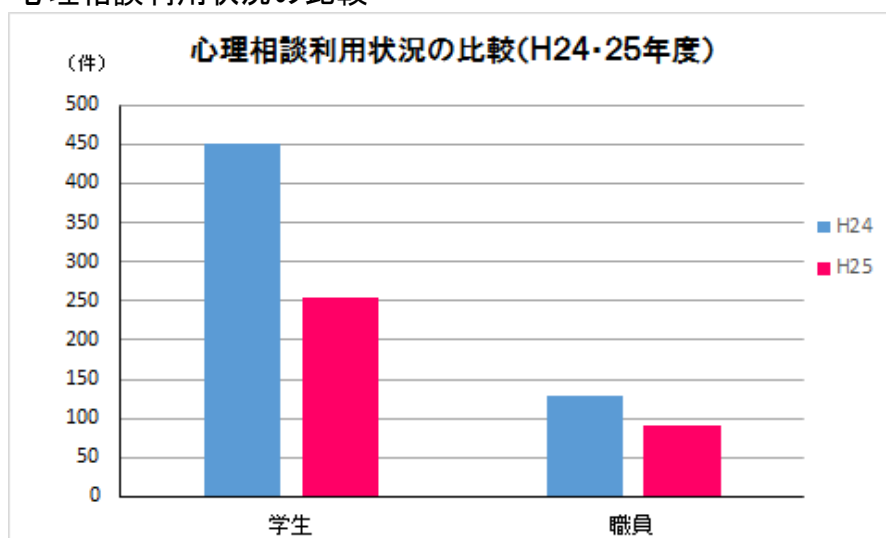
平成 25 年度相談室利用状況

		医学部	歯学部	薬学部	専門学校	計
精神保健	延相談件数	9	22	41	6	78
	利用者数	4	1	5	1	11
パーソナリティ	延相談件数	9	12	30	20	71
	利用者数	4	6	7	2	19
適応	延相談件数	9	7	17	1	34
	利用者数	4	2	7	1	14
修学	延相談件数	16	2	26	3	47
	利用者数	3	2	9	1	15
進路	延相談件数	1	2	0	0	3
	利用者数	1	2	0	0	3
学生生活	延相談件数	1	0	0	0	1
	利用者数	1	0	0	0	1
ハラスメント	延相談件数	0	0	7	0	7
	利用者数	0	0	1	0	1
学校医相談	延相談件数	2	1	1	0	4
	利用者数	2	1	1	0	4
その他	延相談件数	0	3	7	0	10
	利用者数	0	2	6	0	8
計	延相談件数	47	49	129	30	255
	利用者数	19	16	36	5	76

2) 職員

	延相談件数	利用者数
精神保健	28	7
パーソナリティ	12	3
職場不適應	20	8
家庭問題	1	1
生活相談	1	1
ハラスメント	0	0
コンサルテーション	28	14
その他	0	0
計	90	34

4. 心理相談利用状況の比較



5. 心の健康問題により休業した職員の職場復帰支援

本学の職員で心の健康問題を理由に病気休暇が1ヵ月を超える者を対象に、円滑に職場復帰し、業務が継続できるよう支援を実施。

対応件数（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

対象者	月別対応件数内訳（延件数）												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18名	38	13	21	13	12	25	32	31	18	17	27	23	270

対象者の支援経過（平成 24 年 3 月 31 日現在）

復帰（支援終了）	復帰（支援継続）	退職	病休中
10	1	3	4

IV メンタルヘルス支援

1. セミナー

(平成 25 年度 対象：職員)

開催日	内 容	場 所	参加人数
8月2日	ストレスマネジメント講座	木の花会館3階会議室	5名
8月9日	ストレスマネジメント講座	木の花会館3階会議室	4名
8月30日	コミュニケーションスキルアップ講座	木の花会館3階会議室	6名
9月11日	コミュニケーションスキルアップ講座	木の花会館3階会議室	6名
1月31日	ストレスマネジメント講座	木の花会館3階会議室	7名
2月7日	ストレスマネジメント講座	木の花会館3階会議室	6名
2月17日	コミュニケーションスキルアップ講座	木の花会館3階会議室	8名
2月24日	コミュニケーションスキルアップ講座	木の花会館3階会議室	6名

2. 講演会 (対象：職員)

開催日	テーマ	講 師	参加人数
平成 26 年 2 月 26 日	自分を大事にして働く (生きる) こととは	一般社団法人 メンタルパイロテージジャパン オフィス ろごす 代表 吉田 香里	42名

3. 震災支援

当センター臨床心理士が所属する岩手県臨床心理士会の震災支援活動への関与について、昨年度同様に大学からの出張として認められ、参加した。以下に参加した支援活動を示す。

表 2013 年度における岩手県臨床心理士会支援活動への関与 (出張分)

支援活動名	担当者	活動のべ日数
釜石市支援活動	畠山	7日

V 健康教育・啓発活動

1. 健康教育

1) メンタルヘルス関連研修

平成 25 年 4 月 4 日（木） 対象者：新人看護師 101 名

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

平成 25 年 11 月 18 日（月） 対象者：看護部・ICU 所属看護師

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

平成 26 年 1 月 6 日（木） 対象者：薬学部教員、その他

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

2. 啓発活動

1) 健康管理センターだより



今回の健康管理センターだよりでは、4月に眼科学講座 黒坂大次郎 教授がセンター長に着任し、新たな体制でスタートしておりますので、はじめに、センター長から学生・職員の皆さんへ、ご挨拶申し上げます。次に、この季節、紫外線を気にする方も多いと思いますので、紫外線対策について、皮膚科学講座 馬場俊右 先生よりお話を伺いました。保健師からは学生健康診断結果、風しんについての内容。そして最後に、今年度から新たに学校医として着任された内科学講座神経内科・老年科分野 工藤雅子先生、金正門先生のご挨拶と7月以降の健康診断・ワクチン接種等の日程をお知らせします。

健康管理センター長からのご挨拶



センター長
黒坂 大次郎
(眼科学講座 教授)

定年で御退職された嶋村正前健康管理センター長の後任として、平成 25 年 4 月 1 日付で健康管理センター長の重任を引き継ぎました。どうかよろしく願い申し上げます。

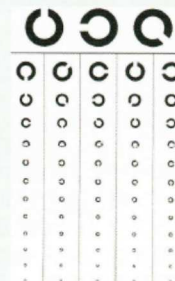
就任間もなく、まだ右も左もよくわからない状態ですが、4月には、臨床心理士の採用試験、この5月からは学生・職員の定期健康診断が始まり、また、日々送られてくる事務サイドからの決裁の多さに圧倒されています。考えてみれば、これだけの大所帯ですから、365 日誰かしら健康状態に問題が生じるのは、当たり前のことかもしれません。その健康管理を担うわけですから、事務作業も膨大でしょうし、責任も重大です。

就任時のガイダンスで、設立されたのが平成 17 年と伺いました。なので、8 年目を迎えるわけです。その間の健康管理センター職員の方々の懸命なる努力にも限らず、様々な課題がどうも山積みしているようです。一つには、職員、特に医師の健康診断受診率が低く、毎年のように病院立ち入り検査時に怒られるそうです。私自身や私の所属する医局の面々を思い浮かべてみますと、確かに健康診断をおろそかにするところがあります。決して軽んじているわけではないのですが、

患者さんの急変を告げる病棟コール、外来患者さんが待っているという連絡、手術予定などなど、受診しようと思ってもなかなか時間が取れず、やっとなんかの時間ができたらからといってみると、混雑していると・・・、なにかと掛けそうになるのです。そしてちょっとびり日ごろの不摂生から自分の健康に自信がなく、怖い面もあって足が遠のくのかもかもしれません。病気があるとわかると、あんなに日ごろは偉そうなのに、自分だってそうじゃないという声が聞こえてくるようです。ですが、やはりしっかりと仕事をしようとして、健康は欠かせません。なので、今一度お考えいただきといっても、受診されない方はきっとこの文章も読まれないと思いますので、この文章をここまでお読みいただいた奇特な方、どうか、周りの方をお誘いくださいませ。



そしてもう一つ、現在の内丸の病院の問題点の一つは、病院の建物が継ぎ足し継ぎ足しで、体系だっていないことだろうと思います。工事するにも複雑で大変です。移転にともない一元管理されていくのだと思いますが、ぜひその際には、複雑になった事務の大系も整理していただければと思います。医師も含めた職員管理が、様々な部署にまたがり、健康診断の案内一つ出すにも苦労している職員を見かねてのお願いです。とまあ、こんなことしかできないとは思いますが、どうかよろしく願いいたします。



紫外線対策について ～紫外線の影響と予防～



皮膚科学講座
講師 馬場 俊右

1. 紫外線の分類と作用

紫外線(UV)は可視光線、赤外線、電波と同様に太陽から放射される電磁波の一つで、長波長紫外線(UVA)、中波長紫外線(UVB)、短波長紫外線(UVC)に分類されます。UVAは地上の紫外線の95%を占め、ガラスを透過し、UVBはガラスを透過しません。UVCはオゾン層で吸収され、地上に到達しません。

UVAは、大量照射後数十分で、メラニンが酸化することで起きる即時型黒化を起し、皮膚を黒くさせます。またUVAは、表皮の下に位置する真皮まで到達するため、皮膚の弾力を保つコラーゲンやエラスチンを変性させ、シミ・シワなど「光老化」の原因となります。UVBは、真皮の血管拡張や炎症性サイトカインの分泌により、皮膚が赤くなる紅斑反応を誘導し、「サンバーン」を引き起こします。サンバーンは、日焼け後数時間で皮膚の赤味と熱感が出現し、数日で改善します。しかし、大量のUVを浴びた場合は、腫れや痛みが強く、水疱を形成して、やけどのような状態になることもあり、注意が必要です。サンバーン後数日で、炎症後の色素沈着により、皮膚の色が黒くなる「サンタン」を起します。UVAも大量に浴びるとサンバーン・サンタンを起します。「日焼け」は即時型黒化とサンバーン、サンタンにより起こります。

またUVは、細胞核でのDNA損傷を引き起こし、それが積み重なって皮膚癌の一因になります。一見シミのような日光角化症という皮膚癌や、それが進行した有棘細胞癌、ほくろのガンとして知られる悪性黒色腫や基底細胞癌の発生にも関係します。また、皮膚以外にも白内障の一因となる等の影響があります。

UVには体温保持や生体時計(概日リズム)の維持、体内でのビタミンD₃の合成作用や、皮膚疾患の光線療法に應用されるなどの利点もある一方で、上記のような有害作用もあり、適切な紫外線対策が必要です。

2. 紫外線対策の方法(物理的防御)

UV対策としては、長時間日光に当たらないこと、衣服・防止・日傘・眼鏡による物理的防御に加えて、サンスクリン剤を正しく使用することが重要です。

UV対策の服装としては、素材は厚手の綾織の綿(綿は薄いとUVA,UVBを透過する)あるいは綿とポリエステル混紡(ポリエステルはUVBを透過しないが、UVAは透過する)が良く、色は光を反射させる白や淡い色の衣服、傘や帽子が良いとされます。傘と帽子は裏面が濃い色だと散乱光を吸収できます。濃い色は紫外線を吸収しますが、可視光と赤外線も吸収し、熱を溜め込み暑くなるため、表面と裏面で色を使い分けるのがよいでしょう。

3. 紫外線対策の方法(サンスクリン剤)

サンスクリン剤は、散乱剤と呼ばれる無機系素材と、吸収剤と呼ばれる有機系素材を使用したものがあります。無機系素材は酸化亜鉛や酸化チタンなどの細かい粒子で、主にUVを散乱させるもので、敏感肌や小児でも使用しやすいですが、塗布後白く見えやすい欠点があります。有機系素材は桂皮酸系やベンゾイルメタン系が頻用され、アレルギーを示す場合もありますが、塗布後白くなりにくい利点があります。使用目的と皮膚状態に応じてサンスクリン剤を選択する必要があります。

サンスクリン剤の評価として、UVBによる紅斑反応を指標とするSPF値とUVAの防御効果を示すPA分類があります。SPF値は、サンスクリン剤を塗った場合、塗らない場合より、紅斑反応を起こすまで何倍の時間耐えられるかを示し、SPF値10なら、塗らない場合の10倍の時間UVを浴びると、皮膚が赤くなります。一般的な日本人の場合、自然光で皮膚に赤くなるまで、平均20分(真夏の正午、伊豆)であり、SPF値10なら、理論上は20分×10=200分の露光に耐えられます。PA分類は、PA+,++,+++に分類するもので、多い程UVAによる即時型黒化を抑制します。実際にサンスクリン剤を使用する場合、塗布量の不足、汗や水の影響、皮膚への結合性など、SPF値やPA値を測定した条件と実際の使用環境は異なるので、あくまで目安として利用し、十分な効果を得るには使用量と方法にも注意が必要です。一般に日常生活ではSPF値20程度、屋外スポーツ時は40程度が良いとされ、2~3時間毎に塗り直す必要があります。化粧品に紫外線防止効果がある場合でも単独では効果が不十分で、サンスクリン剤を塗布した上で、化粧品を重ねて使用する必要があります。

4. 終わりに

UVは1年中曇りの日でも、降り注いでいますが、3月~9月の10時~14時頃はUVが強く、夏がピークで、注意が必要です。過度の日焼けや光老化、光発癌を予防するため、適切な紫外線対策を行いましょう。



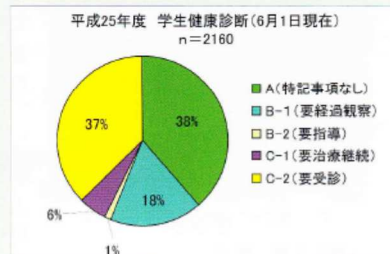
紫外線による健康障害	
急性障害	①日焼け(サンバーン、サンタン) ②紫外線角膜炎 ③免疫機能低下
慢性障害	①シワ、シミ ②皮膚良性腫瘍(一部のホクロ、イボ) ③皮膚癌(日光角化症、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫) ④白内障

学生健康診断結果

「平成 25 年度 学生健康診断結果」を 6 月 17 日付で通知しております。

「A (特記事項なし)」は 38% で、約 6 割は「所見あり」となっています。

「C-2 (要受診)」の内容は視力及びアレルギー性結膜炎等の眼科所見、高血圧、肝機能、が主な内容になっています。早めに受診し健康保持増進に努めましょう。各自、内容を確認し所見のある学生は下記事項に従ってください。



- 「C-2 判定 (要受診)」者は早急に受診し、受診状況報告書を 7 月 17 日 (水) までに健康管理センターへ提出してください。

受診状況報告書は、実習に入る際や就職活動の際の提出書類になりますので「C-2 判定 (要受診者)」者は必ず受診し健康管理センターへ提出してください。

- 「C-2 判定 (要受診)」の項目が高血圧、眼科 (視力 0.6 以下)、尿検査の場合は、医療機関受診の前に健康管理センターで再検査が可能です。「平成 25 年度学生健康診断精密検査及び受診状況報告書」持参のうえ報告書提出期限の 7 月 17 日までに健康管理センターへ来室してください。

- 「B-1 判定 (要経過観察)」者、「B-2 判定 (要指導)」者は経過観察や生活習慣の改善が必要になりますので健康管理センターへ相談してください。
判定内容によっては、個別に連絡する場合もあります。



～大人の風しんが流行中～

風しん患者は、2011 年より増え始め、現在も流行が続いています。図 1 は、風しん累積報告数です。国立感染症研究所のまとめによると、2013 年の患者数は 6 月 5 日現在で 9,408 人と、すでに 2012 年の 4 倍近くになっています。流行は首都圏から全国に広がってきています。岩手県では、6 月 5 日現在で 7 人の報告があります。性別・年齢でみると、20~40 代の男性、20 代の女性で多くなっています。20 代以上の男性が風しんにかかりやすいのは、そのほとんどがワクチン接種を受けていないからと言われています。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫 (ひまつ) 感染によって感染します。感染後、2~3 週間の潜伏期を経て発症します。

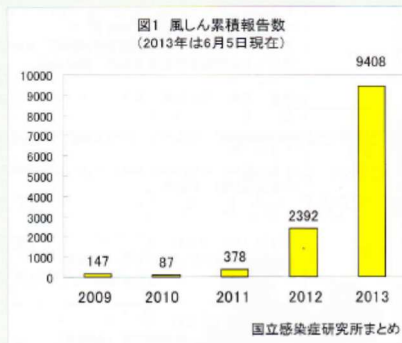
症状は、発疹、発熱、リンパ節 (耳の後ろ、首の後ろ、後頭部下) の腫れがあります。子供では比較的軽くすむことが多いですが、大人がかかると子供より症状が重く、関節痛がひどいことが多いとされています。

女性は妊娠前にワクチンで確実に予防しましょう

妊娠中は風しんワクチンを接種できません。抗体を持たない又は低い抗体価の女性が妊娠中に風しんにかかる

と、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害 (先天性風しん症候群) が起こる可能性があります。

妊娠する可能性の高い 10 代後半から 40 代の女性で、抗体価が十分であると確認できた方以外は、予防接種をおすすめします。また、妊婦を守る観点から、特に妊婦の夫、子ども及び同居家族の方も、予防接種を受けることを検討してみてください。



学校医からのご挨拶



学校医

(右) 工藤 雅子

(内科学講座神経内科・老年科分野 講師)

(左) 金 正門

(内科学講座神経内科・老年科分野 特任講師)

平成 25 年 4 月から学校医を担当しております内科学講座神経内科・老年科分野の工藤雅子と金正門です。前任の内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病分野の小林仁准教授と鈴木順講師の後任として、2 年間の担当となりますのでよろしくお願いたします。

日常診療においては、工藤が頭痛や認知症、金が脳血管障害を中心に本学附属病院の診療に従事しております。学校医の職務対象は、医学部、歯学部、薬学部、大学院、医療専門学校に在籍する全ての学生であり、2204 人になります。学校医業務は広範囲に渡っているため、健康管理センター長や健康管理センター専任スタッフ、学務部スタッフ、感染症対策室のスタッフ、各学部の指導教員や学生部長の方々などの御指導御助言を受けながらしっかりと業務を遂行する所存であります。御指導と御支援の程よろしくお願いたします。

お知らせ

<7 月以降の健康診断及びワクチン接種等の日程>

※ 時間・場所などは、配布される案内をご覧の上、時間内の受診及び接種をお願いします。

	職員	学生
7 月	23 日(火)・24 日(水) B型肝炎ワクチン1 回目接種(対象者)	4 日(木)・5 日(金) B型肝炎ワクチン2 回目接種 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年)
8 月	7 月 30 日(火)～8 月 9 日(金) VDI 検診(問診) 20 日(火)・21 日(水) B型肝炎ワクチン2 回目接種(対象者)	
9 月	4 日(水)・5 日(木) VDI 検診(要検査者) 17 日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者) 9 日(月)～27 日(金) 内丸キャンパス 胃検診(40歳以上の希望者) 30 日(月) 花巻温泉病院 胃検診(40歳以上の希望者)	
10 月	3 日(木)～15 日(火) 有機溶剤・特定化学物質取扱者調査(対象者) 電離放射線業務従事者調査(対象者)	
	8 日(火) 内丸キャンパス・インフルエンザワクチン接種(薬5年のみ・希望者) 23 日(水)・24 日(木) 矢巾キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者) 28 日(月)～11 月 2 日(土) 内丸キャンパス及び花巻温泉病院・インフルエンザワクチン接種(希望者)	
11 月	12 日(火)～15 日(金) 特定業務従事者健康診断(対象者) 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) 19 日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	
12 月	9 日(月)～13 日(金) 大腸がん検診(40歳以上の希望者) 19 日(木) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種後採血(対象者) 石綿健康診断(対象者)	5 日(木)・6 日(金) B型肝炎ワクチン3 回目接種 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年)
1 月	21 日(火)・22 日(水) B型肝炎ワクチン3 回目接種(対象者)	9 日(木) B型肝炎ワクチン接種後採血(医・薬4年) 10 日(金) B型肝炎ワクチン接種後採血(歯4年) 16 日(木) B型肝炎ワクチン接種後採血(歯科衛生1年、歯科技工1年)
2 月	18 日(火)・19 日(水) B型肝炎ワクチン接種後採血(対象者)	6 日(木) B型肝炎ワクチン追加接種 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年対象者)
3 月	4 日(火) B型肝炎ワクチン追加接種(対象者) 4 月 1 日(火)・2 日(水) B型肝炎ワクチン追加後採血(対象者)	6 日(木) B型肝炎ワクチン追加後採血 (医・歯・薬4年、歯科衛生1年、歯科技工1年対象者)

健康管理センターだより(岩手医科大学)16 号

発行日 2013 年 7 月 3 日

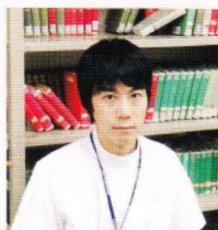
発行 岩手医科大学 健康管理センター

健康管理センターだより

17号 2013年12月10日発行

今回の健康管理センターだよりでは、気分障害について、神経精神科学講座 福本健太郎 先生よりお話を伺いました。次に保健師から、今年度実施した職員健康診断の結果と学生に実施した喫煙に関するアンケート調査の結果についてお知らせします。最後に、自分の物事の捉え方（認知）のクセとストレスとの関係について掲載しましたので、ストレス軽減のための参考にしていただければと思います。

気分障害について



神経精神科学講座
助教 福本健太郎

気分障害とは、気分が沈んだり、高ぶったりする症状を特徴とし、しばしば再発を繰り返します。この気分の変化は様々な原因で生じますが、多くは何らかの過度なストレスが引き金となって起こります。気分障害の中には、抑うつ状態だけが続くうつ病性障害と躁状態と抑うつ状態を繰り返す双極性障害があります。さらにうつ病性障害は、症状の程度や継続する期間によって大うつ病性障害と気分変調性障害に分かれます。一般的に「うつ病」と言われているのが大うつ病性障害であり、気分変調性障害は抑うつ気分が長く続くものを言います。

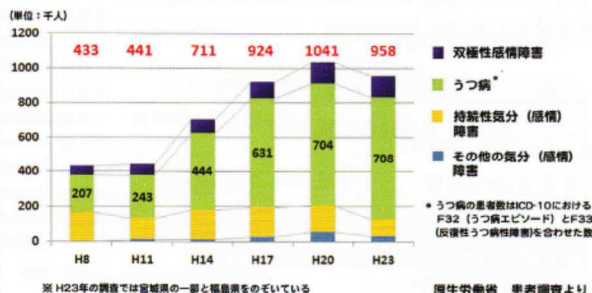
厚生労働省の研究によると、うつ病は日本人では生涯に約15人に1人（6.3%）が経験すると言われています。患者数は平成8年の20.7万人に対し平成23年には70.8万人と15年間で3.4倍増加しています。うつ病患者の分布は、男性は働き盛りの40代がピーク、女性は30代以降で多く、全世代を通じて男性よりも女性の患者数が多くなっています。うつ病患者数が急激に増加した背景として、うつ病診断基準の解釈が拡大したこともありますが、やはり新聞、雑誌、テレビを通じてうつ病が知られるようになったこと、心療内科や精神科受診の敷居が低くなったことが寄与していると考えられています。

このように以前に比べると、うつ病の認知度は高くなったわけですが、病気に対する正しい知識をみなさんが持っているかという現状はそこまで至っていません。うつ支援ネットワークが2012年に発表したインターネットアンケートの調査報告によると、自記式調査でうつ病が疑われる方の中で、医療機関を受診する意向について質問したところ「意向あり」が24.3%にとどまり、「意向なし」が75.6%と大半を占めました。理由として「自分自身の力でまずは解決したい」、「病気」という認識が無いので「病院」に行く事に抵抗がある」、「心配をかけてしまいそう」と回答した方もいたようです。

うつ病の治療は、早期介入と早期治療が予後に大きく関係しますが、うつ病が重症化してから始めて医療機関を受診されるケースが未だに多く見受けられます。うつ病の症状は抑うつ気分や興味や喜びの喪失といった精神症状が有名ですが、初期症状としては精神症状よりも身体症状の自覚から始まる場合もあります。

特に不眠、食思不振、倦怠感という症状が続く場合は要注意です。また本人の自覚症状が乏しい場合でも、周囲が先に不調に気付くこともあります。あまりしゃべらなくなった。仕事でのミスが増えた。ため息をついている。そんな「いつもと違う同僚」に気づいたら、まず声がけをしてみましょう。周囲の言葉に後押しされ、やっと受診に至る方もいます。中には、家庭もしくは仕事の事情だからこそ周囲に相談できないケースもありますので、その際は早めに心療内科または精神科に相談していただければと思います。

気分障害患者数の推移

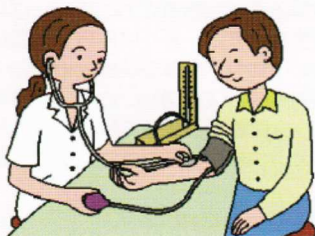


職員健康診断結果

<表1 受診率>

職員対象者	2,832名
受診者	2,791名
未受診者	41名
受診率	98.6%

(平成25年11月9日現在)



職員定期健康診断は、労働安全衛生法に基づき1年に1回は必ず実施するものであり、事業主による労働者の健康状態を把握するための健診です。

平成25年度の本学職員の受診率は表1のとおりです。図1は受診者2791名の判定結果です。所見のない人は23%で、何らかの所見がある人は8割近くになります。

図1 平成25年度 職員定期健康診断
判定結果(n=2791 受診率98.6%)

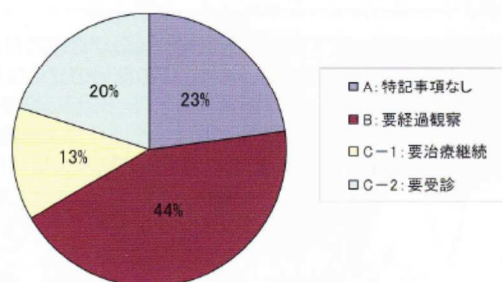


図2は「C-2(要受診)」と判定された項目の内訳です。LDL-C(LDL コレステロール)やAST(GOT)・ALT(GPT)・γGTPなどの肝機能、TG(中性脂肪)が上位を占めています。これらは、40歳以上の職員が対象の特定健康診査における健診結果データ必須項目としても私学共済に報告される項目です。特定健康診査の対象者には、結果通知とともに保健指導利用券やガイドブック等が人事職員課を通じて配付されます。

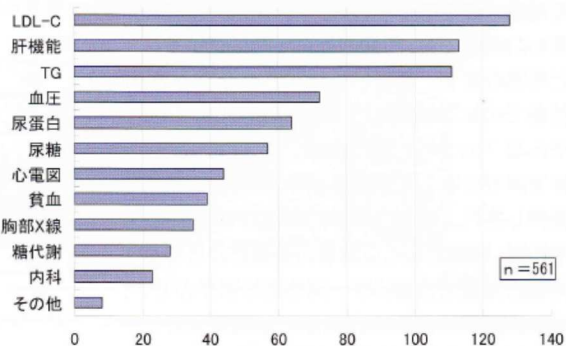
健康管理センターでは、C-2(要受診)者に「C-2(要受診)者報告書」の提出を求めており、表2は受診報告書の提出率です。受診報告書を提出している人は46.3%と半数に満たない状況です。まだ受診報告書を提出していない方は、受診し報告書を提出してください。有所見者のなかには「特に症状がないから…」と放置する人がいますが、それでは早期発見や重症化の予防に繋がりません。この機会に日頃の生活習慣の見直しをするとともにきちんと受診し、各自で健康管理に努めましょう。

また、健診で「特記事項なし」と判定されても、気になる症状があれば、早めの受診をおすすめします。

<表2 C-2(要受診)者報告書提出率>

C-2(要受診)者数	561名
報告書提出者数	260名
報告書提出率	46.3%

図2 平成25年度 職員定期健康診断
C-2(要受診)項目の内訳(複数該当あり)



学生の喫煙に関する実態調査から

今年5月に実施した、喫煙に関するアンケート調査の結果の概要をお知らせします。

1) 喫煙率

本学（医療専門学校含む）の喫煙者（「過去1ヶ月に毎日あるいは時々喫煙している」）は、223名（12.7%）でした（図1）。これは、全国平均〔学生健康白書2010（6年制学生）：男子7.95%、女子1.43%〕と比べ、かなり高い喫煙率といえます。

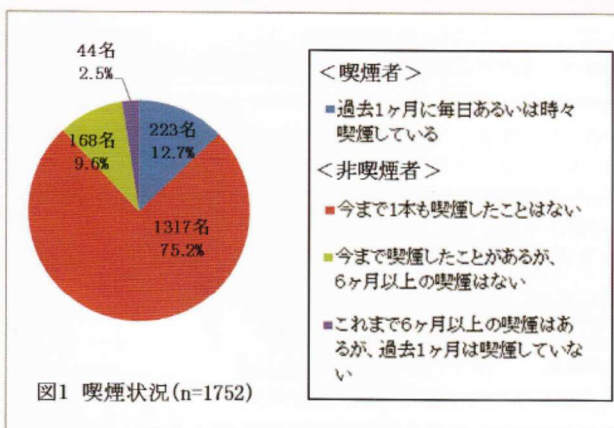


図1 喫煙状況 (n=1752)

2) 喫煙開始年齢と喫煙のきっかけ

喫煙開始年齢は「20歳～」が47.1%で約半数を占め、喫煙のきっかけでは「友人・同級生・先輩が喫煙していたから（友人・同級生・先輩に誘われて）」が46.7%で最も多かったです。

3) 禁煙について

禁煙に興味がある者は223名中85名（38.1%）、禁煙に興味がない者は138名（61.9%）、禁煙を考えない理由としては、「止める気がない」、「気持ちが落ち着くから」、「なんとなく」などが挙げられています。

4) 非喫煙者の喫煙に対する考え

非喫煙者の喫煙に対する考えは「たばこのにおいが気になる」、「大学を敷地内全面禁煙にして欲しい」、「受動喫煙でストレスを感じる」（図2）などがありました。

喫煙はメタボリックシンドロームの主要因である肥満、糖代謝異常、脂質異常症、高血圧と並んで、単独で重要な動脈硬化性疾患の危険因子となるとともに、多くのがんをはじめCOPD（慢性閉塞性肺疾患）、歯周病など様々な疾患を引き起こします。

一方、**禁煙は**多くの喫煙関連疾病発症のリスクを低下し、疾病発症に対して予防効果があります。今回の実態調査をきっかけに喫煙について考えてみましょう。健康管理センターでは禁煙に対する相談も受けておりますので、気軽にご相談ください。

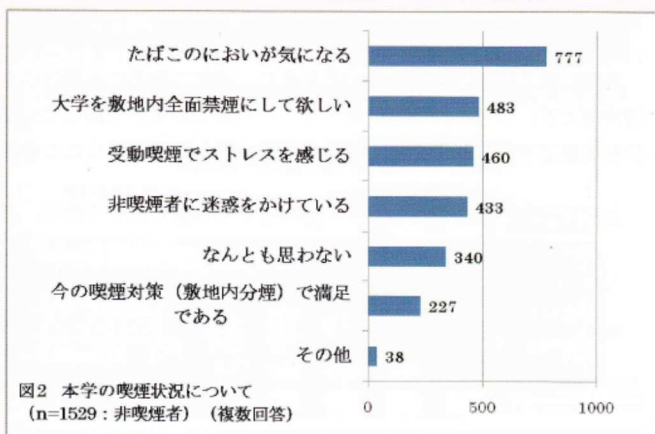


図2 本学の喫煙状況について (n=1529：非喫煙者) (複数回答)

物事の捉え方（認知）のクセに気づき、ストレス軽減を!!

朝友人に挨拶をした時、相手から挨拶が返ってこなかった場合、皆さんはどのように感じ、考えるでしょうか？ 例えば、

- ①「あいつ自分のことを無視しやがって（怒り）」
- ②「あいつは自分のことが嫌いなんだ（悲しみ）」
- ③「自分が何か相手の気分を害することをしたのではないだろうか（自分を責める）」
- ④「考え事をして気付かなかったのかな（?）」

など、と考えてしまいますか？

このような物事に対する捉え方を認知といいます。私たちは物事に対していくつかの捉え方が可能ですが、個人で捉え方にクセ（偏り）があり、悲観的に捉えるクセのある方は、その後のストレスとなって影響を与えます。ストレスを抱えやすい人は、第一に自分のクセに気づくことが対処の始まりです。以下のようなクセはありませんか？

- ・両極端な思考……「成功か失敗か」、「0か1か」のような二分割の思考
- ・過度の一般化……一つの失敗で「いつも…だ」のように考える
- ・根拠のない推論……具体的な根拠のないままに結論を急ぎ、否定的に推論する
- ・自分への関連づけ……自分に関係のないことまで自分に結び付けて判断する
- ・べき思考……理由もなく、人は絶対に「～すべきだ」と確信している
- ・選択的な注目……自分に関係のある特定の事項のみ選び出して結論付ける
- ・低い自己評価……自分は何をやってもできない、他の人より劣っていると捉える
- ・過大・過小評価……失敗や欠点を実際より大きく捉え、逆に成功や長所を小さく捉える

このようなクセがあると感じた方は、以下のように考えてみることで違った角度から現状を眺め、クセに代わる捉え方を見つけることでストレスを軽減することが可能です。

- 「自分の考え方が正しいなら、これからどんなことが起こるだろうか？」
- 「そう考えるための根拠はどこにあるのか？」
- 「自分の考えと矛盾した出来事はないだろうか？」
- 「今までにうまくいったことはないだろうか？」



実際に考える際には書き出してみると、現状の整理にも繋がり、効果的です。クセというだけあって、これまでの生活で身についたもので、習慣的に取り組んでいくことで、クセを修正することができます。まずは、ストレスを感じたときに実践してみましょう!!

上記の内容は健康管理センター相談室でも相談できますので、お気軽にご利用ください。

【相談室利用申込】

電話またはメールにてお申し込みください。

TEL：019-651-5111（代表） 内線 3816/3818（内丸）、5022（矢巾）

E-mail：shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp

2) 掲示

25 健管第1号
平成25年8月2日

学生 各位

学内で風疹発症あり!

下記の症状がありましたら注意が必要です。早めに医療機関を受診してください。

- ・発熱
- ・発疹
- ・リンパ節腫脹（頸部、後頭部、耳介後部）

※風疹は飛沫感染（咳やくしゃみなどのしぶき）によるウイルス性発疹症です。妊娠初期に風疹に感染すると先天性風疹症候群の障がいを引き起こすことがあります。感染拡大を防ぐため、1人1人がしっかりと予防し、流行を抑制する必要があります。

～予防策として～
一番の予防は予防接種です。風疹の免疫をもっていない場合は、ワクチン接種をお勧めします。特に妊娠可能年齢の女性は、積極的にワクチンで免疫を獲得しておくことが望まれます。（妊娠している場合はワクチン接種を受けることができません。）日常生活のなかでの予防は、通常のウイルス性の風邪の予防と同じでうがい・手洗いをこまめに行うこととマスクの着用です。

もし風疹と診断されたら・・・

- ①診断書を書いてもらう
（出席停止期間＝休養・静養期間も必ず記載してもらうこと）
- ②診断書に書いてある期間は大学に通学できません
- ③事務室および健康管理センターに電話で報告
- ④出席停止期間後、事務室に「診断書」「欠席届」を提出する

岩手医科大学 健康管理センター
内丸（内線3816・3818）
矢巾（内線5022）

25 健管第2号
平成26年1月23日

学生 職員 各位

緊急

インフルエンザ流行入り

インフルエンザの流行期に入りました。学内でも発症が報告されています。ワクチン接種をしていても発症する場合がありますので、安心せず予防対策をしっかりと行いましょう！

【予防対策】

- ①人混みでは使い捨てマスクを使用する。
- ②外から帰った時や食事の前には、必ず流水で手を洗う。
- ③睡眠を十分とり、疲労を残さない、食事もバランスよく摂るよう心がける。
- ④風邪症状の人にはできるだけ近づかない。
- ⑤咳エチケットを励行する。

咳エチケットとは、咳やくしゃみの際はティッシュで鼻と口を隠し、他人から顔を約1m以上隠れる。顔が一定角度を向きティッシュをすぐに着脱のゴミ箱へ捨て、石鹸で手を洗う。咳が出るときはマスクの着用。

【症状が出たときは早めに受診を！】

- ・悪寒
- ・頭痛
- ・発熱
- ・全身倦怠感
- ・筋肉痛
- ・関節痛
- ・咽頭痛
- ・咳 など

インフルエンザと診断されたら...

【学生は】

- ①診断書を書いてもらう。
学生は学校保健安全法改正により発症から5日間かつ解熱後2日間は登校できません。（出席停止期間＝休養・静養期間も必ず記載してもらうこと）
- ②診断書に書いてある期間は大学に通学できません。
- ③各教務課および健康管理センターに電話で報告する。
- ④出席停止期間後、教務課に「診断書」「欠席届」を提出する。

【職員は】

- ①就業規制は解熱後3日以上、かつ発症後5日以上を経過していること。
- ②インフルエンザの確定診断を得た場合は当該部署の管理者に連絡。

岩手医科大学 健康管理センター
内丸キャンパス（内線 3816・3818）
矢巾キャンパス（内線 5022）

25 健管第3号
平成26年3月6日

学生 職員 各位

緊急

インフルエンザ警報

【予防対策】

- ①人混みでのマスクの着用
- ②流水での手洗い
- ③睡眠とバランスの良い食事
- ④咳エチケット

岩手県感染症情報センター
岩手県内におけるインフルエンザの発生状況
平成26年3月6日（2014-3-6）

【インフルエンザと診断されたら】

学生

- ①診断書を書いてもらう
（発症から5日間かつ解熱後2日間は登校できません。）
- ②各教務課および健康管理センターに電話で報告する。

職員

就業規制は解熱後3日以上、かつ発症後5日以上を経過していること。

岩手医科大学 健康管理センター
内丸キャンパス（内線 3816・3818）
矢巾キャンパス（内線 5022）

IV 学会・研修会

1. 学会・研修会等参加状況

開催月日	件名	出席者名	会場
11/13～ 11/14	第51回全国大学保健管理研究集会	久保陽子	〈岐阜〉長良川国際 会議場・岐阜都ホ テル
2/28	平成25年度（公）岩手県対がん協会 がん 検診担当者会議並びに研修会	村山美保 久保陽子	ホテルメトロポリタンニューウイ グ